

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ設置者	ガッコウセイジシ カンサイヨウカクケン 学校法人 関西金光学園									
フリガナ大学の名称	カンサイフクシダイガク 関西福祉大学 (Kansai University of Social Welfare)									
大学本部の位置	兵庫県赤穂市新田380番地の3									
大学の目的	本学は、金光教の教義に基づく建学の精神に則り、豊かな人間性と深い専門性を備えた社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。									
新設学部等の目的	本学は、豊かな人間性と深い専門性を持った有能な人材を養成し、これまで有為な人材を輩出してきた。こうした教育活動が社会的に評価され、近年安定的に志願者を確保し、高い就職率を維持しており、志願者動向及び各学科の入学定員状況等を鑑み、また、本学の教育研究活動をさらに広げ、地域社会のニーズに応え、より多くの優秀な人材を輩出する事で社会的責任を果たすことができると考え、それに伴い社会福祉学部社会福祉学科、看護学部看護学科、教育学部保健教育学科の定員を増員し、収容定員の増加を行うものである。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	社会福祉学部 [Faculty of Social Welfare] 社会福祉学科 [Department of Social Welfare]	4年	110 (100)	3年次 0 (3)	440 (406)	学士(社会福祉学) [Bachelor of Social Welfare]	令和5年4月 第1年次	兵庫県赤穂市新田 380番地の3		
	看護学部 [Faculty of Nursing] 看護学科 [Department of Nursing]	4年	90 (85)	3年次 0 (2)	360 (344)	学士(看護学) [Bachelor of Nursing]	令和5年4月 第1年次	同上		
	教育学部 [Faculty of Education] 児童教育学科 [Department of Childhood Education]	4年	80	-	320	学士(児童教育学) [Bachelor of Childhood Education]	平成26年4月 第1年次	同上		
	保健教育学科 [Department of Health Education]	4年	85 (80)	-	340 (320)	学士(教育学) [Bachelor of Education]	令和5年4月 第1年次	同上		
計	4	365 (345)	0 (5)	1460 (1390)						
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	-	一科目	一科目	一科目	一科目	一科目				
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設	社会福祉学部 社会福祉学科		10 (10)	3 (3)	2 (2)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	17 (17)
		看護学部 看護学科		8 (8)	7 (7)	6 (6)	7 (7)	28 (28)	4 (4)	21 (21)
		教育学部 児童教育学科		10 (10)	1 (1)	5 (5)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	18 (18)
		保健教育学科		3 (3)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	13 (13)	0 (0)	20 (20)
	計		31 (31)	14 (14)	17 (17)	13 (13)	75 (75)	4 (5)	- (-)	
既設分	該当なし		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	計		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
合計			31 (31)	14 (14)	17 (17)	13 (13)	75 (75)	4 (5)	- (-)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		37 (37)	12 (12)	49 (49)					
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	図 書 館 専 門 職 員		2 (2)	2 (2)	4 (4)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	計		39 (39)	14 (14)	53 (53)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	37,358 m ²	0 m ²	0 m ²	37,358 m ²					
	運 動 場 用 地	18,667 m ²	0 m ²	0 m ²	18,667 m ²					
	小 計	56,025 m ²	0 m ²	0 m ²	56,025 m ²					
	そ の 他	4,779 m ²	0 m ²	0 m ²	4,779 m ²					
	合 計	60,804 m ²	0 m ²	0 m ²	60,804 m ²					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
		18,079m ² (18,079 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	18,079m ² (18,079 m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	18 室	24 室	13 室	1 室 (補助職員 1人)	1 室 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		大学全体		70 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	73,786 [8,504] (73,786 [8,504])	219 [86] (219 [86])	74 [74] (74 [74])	3,474 (3,474)	6,677 (6,677)	0 0			
	計	73,786 [8,504] (73,786 [8,504])	219 [86] (219 [86])	74 [74] (74 [74])	3,474 (3,474)	6,677 (6,025)	0 0			
図 書 館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		915 m ²	224 席		78,000 冊					
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
		2,242 m ²	テニスコート2面							
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	図書費には電子ジャーナルの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等		360千円	360千円	360千円	360千円	- 千円	- 千円	
		共同研究費等		1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	- 千円	- 千円	
		図 書 購 入 費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	- 千円	- 千円	
	設 備 購 入 費	50,400千円	25,000千円	25,000千円	25,000千円	25,000千円	- 千円	- 千円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		社会福祉学部 社会福祉学科	1,210千円	1,010千円	1,010千円	1,010千円	- 千円	- 千円		
		看護学部 看護学科	1,750千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	- 千円	- 千円		
		教育学部 児童教育学科	1,250千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	- 千円	- 千円		
		教育学部 保健教育学科	1,330千円	1,130千円	1,130千円	1,130千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金等							

既設大学等の状況	大学の名称	関西福祉大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	
	看護学研究科 看護学専攻博士後期課程	3	3	-	9	博士(看護学)	1.66	平成29年	兵庫県赤穂市新田380番地の3
	看護学研究科 看護学専攻博士前期課程	2	6	-	12	修士(看護学)	1.33	平成24年	
	社会福祉学研究科 社会福祉学専攻	2	5	-	10	修士(社会福祉学)	0.20	平成21年	
	社会福祉学部 社会福祉学科	4	100	3	408	学士(社会福祉学)	1.11	平成9年	
	看護学部 看護学科	4	85	2	337	学士(看護学)	1.12	平成18年	
	教育学部 児童教育学科	4	80	-	320	学士(児童教育学)	0.86	平成26年	
	教育学部 保健教育学科	4	80	-	320	学士(教育学)	1.13	平成29年	
附属施設の概要	名称：関西福祉福祉大学附属地域センター 目的：地域連携 所在地：関西福祉大学 1号館 コミュニティ棟 設置年月：平成9年4月1日 規模等：床延面積 584.82㎡ (1F・2F)								

学校法人関西金光学園 設置認可等に関する組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
関西福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教育学部 児童教育学科 保健教育学科 看護学部 看護学科 <hr/> <div style="text-align: right;">計</div>				→	関西福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教育学部 児童教育学科 保健教育学科 看護学部 看護学科 <hr/> <div style="text-align: right;">計</div>				
	100	3	406			<u>110</u>	<u>0</u>	<u>440</u>	定員変更(10) 編入学定員(△3)
	80	-	320			80	-	320	
	80	-	320			<u>85</u>	-	<u>340</u>	定員変更(5)
		3年次					3年次		
	85	2	344			<u>90</u>	<u>0</u>	<u>360</u>	定員変更(5) 編入学定員(△2)
	345	5	1,390			<u>365</u>	<u>0</u>	<u>1,460</u>	
関西福祉大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(M) 教育学研究科 児童教育学専攻(M) 看護学研究科 看護学専攻(M) 看護学専攻(D) <hr/> <div style="text-align: right;">計</div>					関西福祉大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(M) 教育学研究科 児童教育学専攻(M) 看護学研究科 看護学専攻(M) 看護学専攻(D) <hr/> <div style="text-align: right;">計</div>				
	5	-	10			5	-	10	
	5	-	10			5	-	10	
	6	-	12			6	-	12	
	3	-	9			3	-	9	
	19	-	41			19	-	41	

【関西福祉大学 位置図 I】



関西福祉大学 位置図 II



- ・ JR赤穂線「播州赤穂駅」から、約3km
- ・ JR播州赤穂駅から、「関西福祉大学行き」バスにて約10分

【校舎平面図 I (校舎 I、体育館)】

1F



2F



【転共用区分・面積合計】

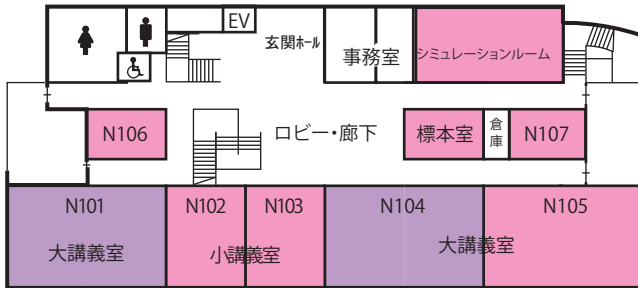
- 社会福祉学科専用部分: 449.93 m²
- 看護学科専用部分: 0 m²
- 保健教育学科専用部分: 313.6 m²

- 社会福祉学科・児童教育学科・保健教育学科共用部分: 761 m²
- 看護学科・保健教育学科・児童教育学科共用部分: 400.8 m²
- 他学科・研究科専用部分: 965.31 m²
- 全学共用部分: 11,284.58 m²(内訳: 校舎 I 9,042.34 m², 体育館 2,242.24 m²)

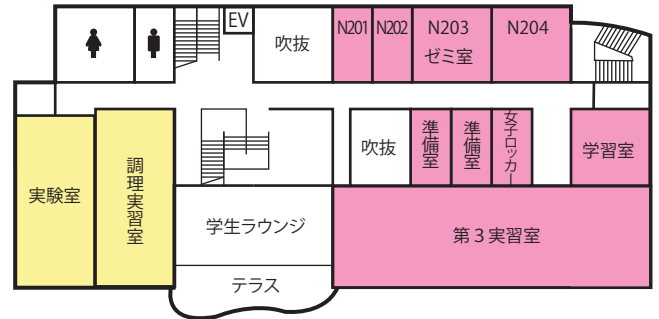
【校舎平面図 Ⅱ（校舎Ⅱ）】

3号館

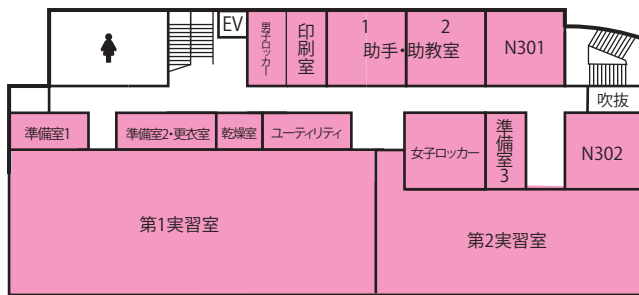
- 1F 大講義室
N101・N104・N105；各121.80㎡ 事務室1；30.20㎡
小講義室
N102・N103；各60.75㎡ 事務室2；23.45㎡
ゼミ室
N106・N107；各29.05㎡ 標本室；29.05㎡
シミュレーションルーム；80.40㎡



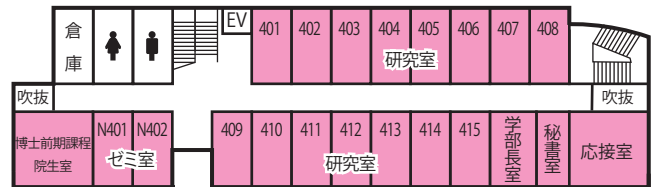
- 2F ゼミ室
N201・N202；各23.45㎡ 学習室；49.00㎡
第3実習室；243.60㎡
実験室；100.4㎡
N203・N204；各46.80㎡ 調理実習室；107.45㎡
準備室1・2；各24.50㎡
女子ロッカー；23.28㎡



- 3F 第1実習室；390.80㎡ 男子ロッカー；23.08㎡
第2実習室；212.80㎡ 女子ロッカー；40.29㎡
ゼミ室
N301・N302；各46.80㎡ 印刷室；21.20㎡
準備室1；23.08㎡ 助手・助教室1；46.80㎡
準備室2・更衣室；39.04㎡ 助手・助教室2；46.80㎡
準備室3；35.85㎡ ユーティリティ；19.95㎡



- 4F ゼミ室
N401・N402；各23.40㎡
研究室
401～415；各23.40㎡
博士前期課程院生室；46.55㎡
学部長室；28.15㎡
秘書室；18.75㎡
応接室；46.80㎡



- 5F 研究室
501～512；各23.40㎡
博士後期課程院生室；36.90㎡
講師控室；46.80㎡

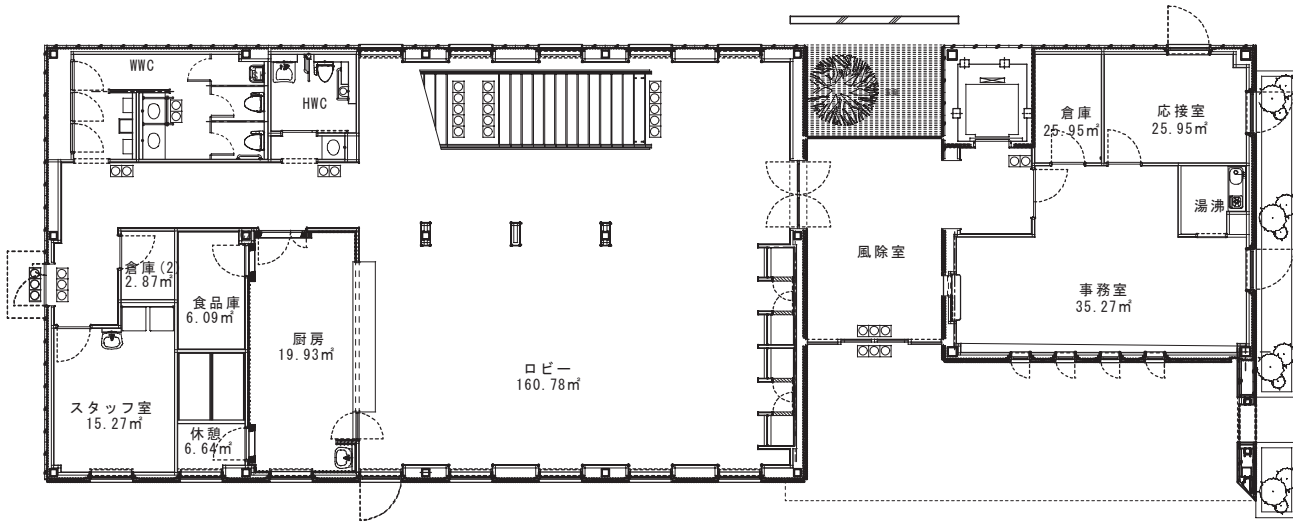
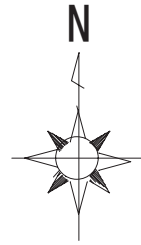


【転共用区分・面積合計】

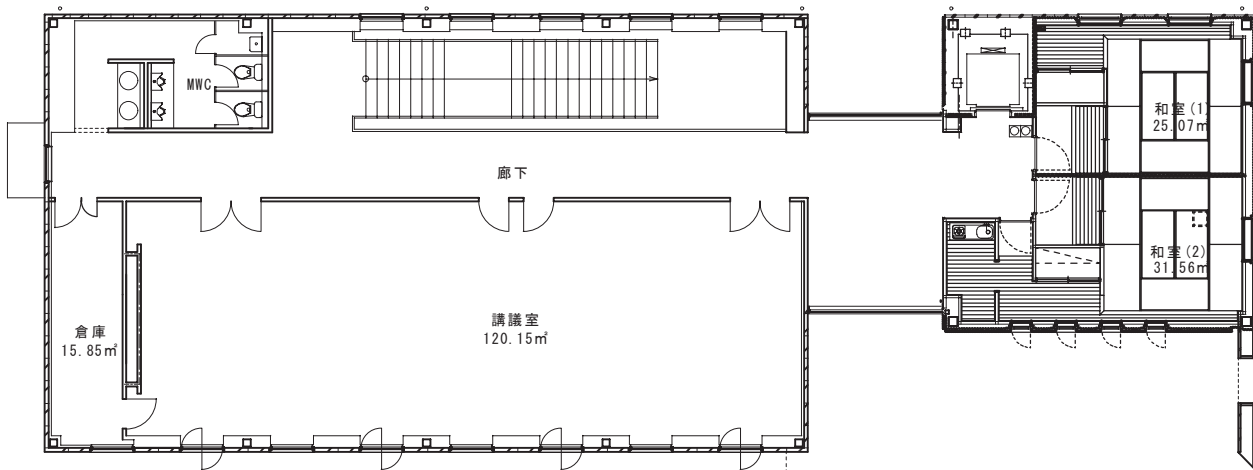
- 社会福祉学科専用部分:0㎡
- 看護学科専用部分:2,702.02㎡
- 保健教育学科専用部分:0㎡
- 社会福祉学科・児童教育学科・保健教育学科共用部分:243.6㎡
- 看護学科・保健教育学科・児童教育学科共用部分:0㎡
- 他学科・研究科専用部分:207.85㎡
- 全学共用部分:1,941.18㎡

【校舎平面図 Ⅲ（校友会館）】

校友会館



1 F



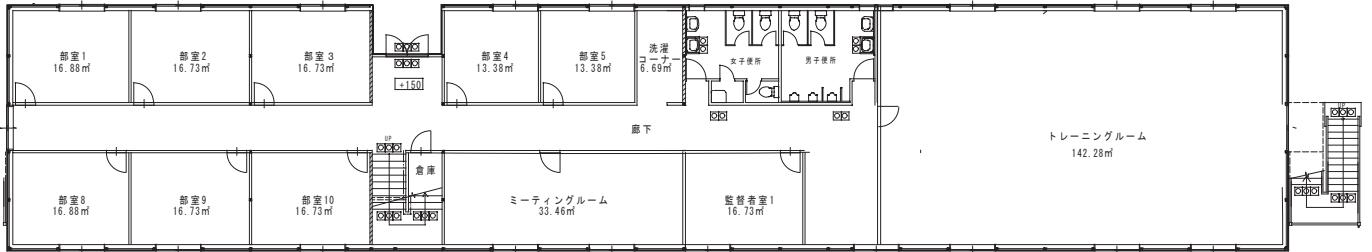
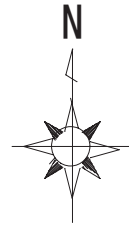
2 F

【転共用区分・面積合計】

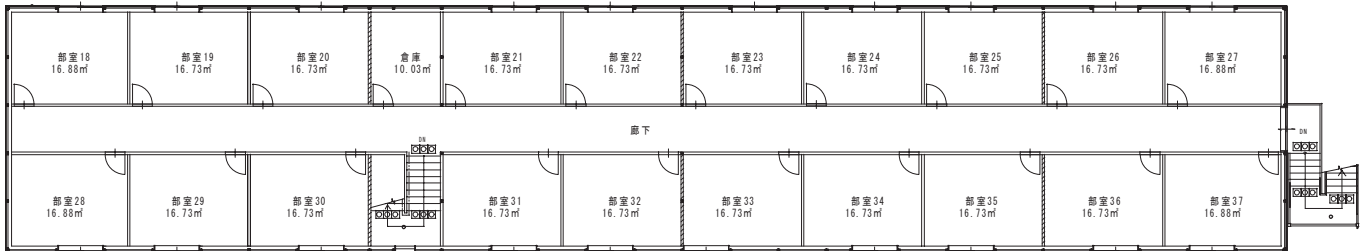
- 社会福祉学科専用部分:0㎡
- 看護学科専用部分:0㎡
- 保健教育学科専用部分:0㎡
- 社会福祉学科・児童教育学科・保健教育学科共用部分:0㎡
- 看護学科・保健教育学科・児童教育学科共用部分:0㎡
- 他学科・研究科専用部分:0㎡
- 全学共用部分:612㎡

【校舎平面図 IV】

クラブハウス



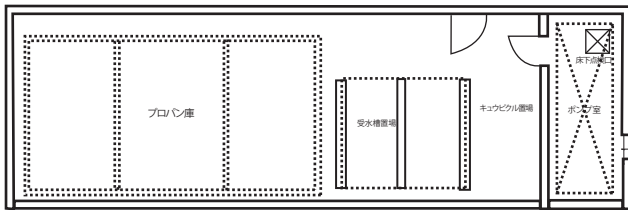
1 F



2 F

機械室

面積：16.50㎡



注) 「機械室」の床面積狭小につき、「クラブハウス」と等比させていない。

【転共用区分・面積合計】

- 社会福祉学科専用部分:0㎡
- 看護学科専用部分:0㎡
- 保健教育学科専用部分:0㎡
- 社会福祉学科・児童教育学科・保健教育学科共用部分:0㎡
- 看護学科・保健教育学科・児童教育学科共用部分:0㎡
- 他学科・研究科専用部分:0㎡
- 全学共用部分:897.8㎡(内訳:クラブ棟881.3㎡,機会室16.50㎡)

関西福祉大学 学則（案）

第1章 総 則

第1節 目 的

（目 的）

第1条 関西福祉大学（以下「本学」という。）は、金光教の教義に基づく建学の精神に則り、豊かな人間性と深い専門性を備えた社会に貢献しうる有能な人材を養成し、保健・医療・福祉・教育に関する理論的、実践的研究を進め、学術、文化の進展に寄与することを目的とする。

（自己点検・評価等）

第2条 本学は、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、自己点検・評価を行うものとする。

2 自己点検・評価等に関する必要な事項は、別に定める。

第2節 組 織

（学部及び学科）

第3条 本学に次の学部及び学科を置く。

社会福祉学部
社会福祉学科
看護学部
看護学科
教育学部
児童教育学科
保健教育学科

2 各学部・学科の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
社会福祉学部	社会福祉学科	<u>110名</u>		<u>440名</u>
看護学部	看護学科	<u>90名</u>		<u>360名</u>
教育学部	児童教育学科	80名		320名
	保健教育学科	<u>85名</u>		<u>340名</u>

3 学部の教育研究上の目的を次のとおり定める。

社会福祉学部	人間の尊厳を大切にする『福祉の心』を基盤とする豊かな教養と、社会福祉の価値・知識・技術を身につけ、広い視野から福祉社会の発展に大きく貢献できる人材を育成する。
看護学部	生命の尊厳と人権を尊重し擁護する倫理観を培うとともに、その人がその人らしく生きられるようなヒューマンケアを提供し、保健・医療・福祉を総合的に捉え、社会の多様なニーズに対応し、地域社会および国際社会に貢献しうる質の高い実践能力のある看護専門職者を育成する。
教育学部	人の生涯にわたる発達を見据えつつ、人が社会の中で育ち、他者の影響を受けながら自己形成していくことや社会の望ましい在り方について、教育・保育に携わる立場から真摯に考え、課題解決のために行動できる確かな実践力を持った教員・保育者を育成する。

（附属図書館）

第4条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館の組織と運営に関する必要な事項は、別に定める。

(附属地域センター)

第5条 本学に附属地域センターを置く。

2 附属地域センターの組織と運営に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第6条 本学に事務局を置く。

2 事務局の組織と運営に関する必要な事項は、別に定める。

第3節 職員組織

(職員組織)

第7条 本学に、学長、学部長、研究科長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員その他必要な教職員を置く。

2 本学に副学長、副学部長、副研究科長、学科長、副学科長を置くことができる。

(学長)

第7条の2 学長は、別に定める寄附行為施行細則第2条により理事会において選任し、理事長が任命する。

2 学長は、本学を代表し、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第7条の3 副学長は、別に定める寄附行為施行細則第2条により、理事会において選任し、理事長が任命する。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

(研究科長及び副研究科長)

第7条の4 研究科長及び副研究科長については、別に定める関西福祉大学大学院学則によるものとする。

2 削除

(学部長)

第7条の5 学部長は、教授のうちから、学長の推薦に基づき、寄附行為施行細則第2条により、理事会において選任し、理事長が任命する。

2 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

(副学部長)

第7条の6 学部に副学部長を置くことができる。

2 副学部長は、教授及び准教授のうちから、学長の推薦に基づき、理事長が任命する。

3 副学部長は、学部長を補佐する。

(学科長)

第7条の6の2 学部に配置する学科に学科長を置くことができる。

2 学科長は、教授及び准教授のうちから、学長の推薦に基づき、理事長が任命する。

3 学科長は、学科に関する校務をつかさどる。

(副学科長)

第7条の6の3 学部に配置する学科に副学科長を置くことができる。

2 副学科長は、教授及び准教授のうちから、学長の推薦に基づき、理事長が任命する。

3 副学科長は、学科長を補佐する。

(教員の職務)

第7条の7 教授は、専攻分野について教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

2 准教授は、専攻分野について教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

3 専任講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。

4 助教は、専攻分野について教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

5 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

(主任教授)

第7条の8 学部に主任教授を置くことができる。

2 主任教授は、教授のうちから、学長の推薦により理事長が任命する。

3 主任教授は、学長の命により所管業務を掌理する。

(附属図書館長)

第7条の9 附属図書館に図書館長を置く。

2 図書館長は、教授のうちから、学長の推薦により理事長が任命する。

3 図書館長は、所管業務を掌理する。

(附属地域センター長)

第7条の10 附属地域センターに地域センター長を置く。

2 地域センター長は、教授のうちから、学長の推薦により理事長が任命する。

3 地域センター長は、所管業務を掌理する。

(事務局長)

第7条の11 事務局長は、事務局の事務を統括管理する。

2 事務局長の任期は2年とし、再任できることとする。

(事務局次長)

第7条の12 事務局に事務局次長を置くことができる。

2 事務局次長は、事務局長を補佐する。

3 事務局次長の任期は2年とし、再任できることとする。

(教授会)

第8条 本学に教授会を置く。

1の2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

1の3 前項に定めるもののほか、教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

2 教授会に関する規則は、別に定める。

第4節 学年、学期、休業日

(学 年)

第9条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第10条 学年を分けて、次の2学期とする。

前 期 4月1日から9月30日まで

後 期 10月1日から翌年3月31日まで

(休 業 日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 創立記念日 5月17日
 - (4) 春期・夏期・冬期休業日 別に定める学年暦による。
- 2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第2章 通 則

第1節 修業年限及び在学年数

(修業年限)

第12条 本学の修業年限は、4年とする。

(在学年数)

第13条 在学年数は、8年を超えることはできない。ただし、第19条第1項の規定により入学した学生は、同条第5項により定められた修業すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

第2節 入 学

(入学時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学及び編入学については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第15条 本学に入学することができる者は、学校教育法その他の関係法令等の定めた入学資格に該当する者とする。

- 2 前項に定めるもののほか、入学資格に関し必要な事項は、別に定める。

(入学の出願)

第16条 本学に入学を志願する者は、所定の期日までに、所定の入学願書に入学検定料及び別に定める書類を添えて提出しなければならない。

(入学の選考)

第17条 前条の入学志願者に対しては、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第18条 前条の選考の結果、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに必要書類の提出及び入学金を納付する等の入学手続を行わなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。
- 3 削除

(編入学・再入学)

第 19 条 学長は、本学への編入学又は再入学を志願する者があるときは、編入学にあつては、学則第 3 条第 2 項の規定に基づき、また、再入学にあつては欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

- 2 編入学の入学資格に関し必要な事項は、別に定める。
- 3 削除
- 4 本学に再入学することができる者は、本学を退学した者で再び入学を志願する者とする。
- 5 第 1 項の規定により入学を許可された者についての規程は、別に定める。

第 3 節 教育課程及び履修方法

(授業科目)

第 20 条 各授業科目の科目区分別は、次のとおりとする。

学部 学科	科目区分
社会福祉学部	教養科目、専門科目、資格科目
看護学部	一般教養、看護実践の基盤、看護の発展、自由科目、教職科目
教育学部 児童教育学科	教養科目、専門基礎科目、専門科目、実習演習科目
教育学部 保健教育学科	教養科目、専門基礎科目、専門科目、演習科目、自由科目

2 授業科目を前項の科目区分別に各学部において適切に分類して配置する。科目の分類、配置及び科目区分ごとの単位数については、各学部履修規定に定める。

(必修科目、選択科目、自由科目)

第 21 条 授業科目を卒業要件上、次のとおり分ける。

- (1) 必修科目…必ず履修しなければならない科目
- (2) 選択科目…指定された科目の中から、所定の科目数又は単位数により選択し、履修しなければならない科目
- (3) 自由科目…その単位を修得しても卒業に必要な単位数には算入されない科目

(単位の計算方法)

第 22 条 各授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ次の基準によるものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(1 年間の授業期間)

第 23 条 1 年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35 週にわたることを原則とする。

2 各授業科目の授業は、15 週にわたる期間を単位として行うことを原則とする。ただし、教育上、特に必要があると認めるときは、これより短い指定の期間において授業を行う。

(単位の認定)

第 24 条 学長は、授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(履修登録)

第 25 条 学生は履修しようとする授業科目について学期始めの指定期日までに履修登録届を教務課

に提出しなければならない。

- 2 履修登録を行わなかった授業科目について、単位認定の対象としない。
- 3 その他履修方法等に関する必要な事項は、別に定める。

(試 験)

第 26 条 本学で行う試験は次のとおりとする。

- (1) 定期試験
- (2) 追試験
- (3) 再試験

(定期試験)

第 27 条 定期試験は、学期末にその履修した授業科目について筆記、口述、論文等の方法で行う。

- 2 前項の試験は、その授業のある学期中に随時行う考査等をもって代えることができる。
- 3 その他定期試験及び追試験、再試験について必要な事項は、別に定める。

(受験資格の失格)

第 28 条 次の各号の一に該当する場合は、その授業科目について試験を受けることができない。

- (1) 試験を受けようとする授業科目をその学期において履修登録していないとき、その授業科目
 - (2) 定められた期日までに授業料の学納金を完納していないとき、全授業科目
- 2 試験を受けようとする授業科目の出席回数・時間数等の基準を満たしていない場合は、その授業科目について、試験を受けられないことがある。その基準は、別に定める。

(再履修)

第 29 条 学生は、不合格となった授業科目の単位を修得するために、その科目を翌年度以降に再履修することができる。

(他の大学又は短期大学における履修)

第 30 条 学長は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学（以下「大学等」という。）において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、外国の大学等に留学する場合にも準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 31 条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数とあわせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 32 条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学等（外国の大学等も含む。）において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、前条第 1 項に規定する場合にも準用する。
- 3 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位は、編入学・再入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて 60 単位を超えないものとする。

(遠隔授業)

第 32 条の 2 学長は、多様なメディアを高度に利用して行う授業を、教室等以外の場所で履修させ

ることができる。

2 前項により修得することができる単位数は、60 単位を超えないものとする。

(成績の評価・報告)

第 33 条 成績の評価は、S・A・B・C・D・Xとし、S・A・B・Cを合格とする。

2 成績の評価は 100 点満点とし、次の基準によるものとする。

- (1) S 100 点～90 点
- (2) A 89 点～80 点
- (3) B 79 点～70 点
- (4) C 69 点～60 点
- (5) D 60 点未満
- (6) X 評価無し

3 成績の報告については、各期通知する。

第 4 節 休学、復学、転学、転学部、転学科、留学、退学、除籍及び復籍

(休 学)

第 34 条 疾病その他の理由により、引き続き 3 ヶ月以上修学することができない者は、休学願に医師の診断書、又は理由を証明する書類を添え、学長に願い出て許可を受けなければならない。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長が休学を命ずることがある。

(休学期間・復学)

第 35 条 休学期間は引き続き 1 年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者は、更に 1 年以内に限り、学長が休学期間の延長を許可することができる。

- 2 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第 13 条の在学年数に算入しない。
- 4 休学期間中にその理由がなくなった場合は、復学の許可を願い出ることができる。
- 5 復学の時期は、学期の始めとする。

(転学・転学部・転学科)

第 36 条 他の大学への転学を志願しようとする者は、学長に願い出て許可を受けなければならない。

2 転学部又は転学科を志願しようとする者は、学長に願い出て許可を受けなければならない。必要な事項は別に定める。

(留 学)

第 37 条 外国の大学に留学を志願する者は、学長に願い出て許可を受けなければならない。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第 13 条に定める在学年数に含める。

(退 学)

第 38 条 退学しようとする者は、学長に願い出て許可を受けなければならない。

(除 籍)

第 39 条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍することができる。

- (1) 第 13 条に定める年数を在学してもなお卒業できない者
- (2) 第 35 条第 2 項に定める休学期間を超えてもなお復学できない者
- (3) 死亡した者または長期にわたり行方不明の者
- (4) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (5) その他上記に準ずる者

2 前項第4号により、除籍された者が復籍を願い出る場合は、学長に願い出て許可を受けなければならない。

第5節 卒業、資格等

(卒業等)

第40条 本学を卒業するためには、4年以上在学し、次の各号の単位と要件を満たさなければならない。

- (1) 社会福祉学部社会福祉学科
資格科目を除き、124単位を修得し、社会福祉学部履修規程に定める所定の要件。
- (2) 看護学部看護学科
教職科目、自由科目を除き、125単位を修得し、看護学部履修規程に定める所定の要件。
- (3) 教育学部児童教育学科
124単位を修得し、教育学部履修規程に定める所定の要件。
- (4) 教育学部保健教育学科
自由科目を除き、124単位を修得し、教育学部履修規程に定める所定の要件。

(学位)

第41条 学長は、本学を卒業した者に、次の学位を授与する。

- (1) 社会福祉学部 学士(社会福祉学)
- (2) 看護学部 学士(看護学)
- (3) 教育学部 学士(教育学)

(社会福祉学部における資格)

第42条 社会福祉学部で取得できる資格等は、社会福祉士国家試験受験資格及び精神保健福祉士国家試験受験資格とし、取得に当たっては、次の各項に定める所定の要件を満たさなければならない。

2 社会福祉士の受験資格(社会福祉士及び介護福祉士法第7条第1号)の取得は、第40条に規定する卒業の要件を充足し、社会福祉学部履修規程に掲げる厚生労働大臣の定めた社会福祉に関する指定科目の単位を修得しなければならない。

3 精神保健福祉士の受験資格(精神保健福祉士法第7条第1号)の取得は、第40条に規定する卒業の要件を充足し、社会福祉学部履修規程に掲げる厚生労働大臣の定めた精神障害者の保健及び福祉に関する指定科目の単位を修得しなければならない。資格科目の受講料等は、表Ⅲに定める。

- 4 (削除)
- 5 (削除)

(看護学部における資格)

第43条 看護学部で取得できる資格等は看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格、養護教諭一種免許状とし、第2項から第4項に定める所定の要件を満たさなければならない。

2 看護師国家試験の受験資格の取得は、卒業の要件を充足し、保健師助産師看護師学校養成所指定規則第4条第1項第3号の教育の内容に相当するものとして本学が定める授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

3 保健師国家試験の受験資格の取得は、卒業の要件を充足し、保健師助産師看護師学校養成所指定規則第2条第3号の教育の内容に相当するものとして本学が定める授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

3の2 助産師国家試験の受験資格の取得は、卒業の要件を充足し、保健師助産師看護師学校養成所指定規則第3条第3号の教育の内容に相当するものとして本学が定める授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

4 養護教諭一種免許状の取得は、卒業の要件を充足し、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規

則に定める所要の単位を修得しなければならない。養護教諭一種免許状の取得に必要な科目の一部は教職科目として開設し、卒業要件には含まないものとする。また教職科目の受講料等は、表Ⅲに定める。

(教育学部における資格)

第43条の2 教育学部児童教育学科で取得できる資格等は、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格とし、第2項から第3項に定める所定の要件を満たさなければならない。

2 小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状の取得は、卒業の要件を充足し、教育職員免許法及び同施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

3 保育士資格の取得は卒業要件を充足し、児童福祉法施行規則第6条に定める所要の単位を修得しなければならない。

第43条の3 教育学部保健教育学科で取得できる資格等は、中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)、養護教諭一種免許状とし、第2項に定める所定の要件を満たさなければならない。

2 中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)、養護教諭一種免許状の取得は、卒業の要件を充足し、教育職員免許法及び同施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

第6節 賞 罰

(表 彰)

第44条 学生として表彰に値する行為があった者に対しては、学長が表彰することができる

(懲 戒)

第45条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の停学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者

(2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

(3) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

4 懲戒処分を受けた者で、謹慎、悔悟の実が認められた場合は、学長がその処分を軽減又は免除することができる。

第7節 研究生・科目等履修生・聴講生及び外国人特別学生

(研 究 生)

第46条 学長は、本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関する必要な事項は、別に定める。

(科 目 等 履 修 生)

第47条 学長は、本学において特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生に関する必要な事項は、別に定める。

(聴 講 生)

第48条 学長は、本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、選考の上、聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生に関する必要な事項は、別に定める。

(外国人特別学生)

第 49 条 学長は、外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人特別学生として入学を許可することがある。

2 外国人特別学生に関する必要な事項は、別に定める。

第 8 節 入学検定料、入学金及び学費

(入学検定料、入学金及び学費)

第 50 条 入学検定料、入学金及び学費の額は、表 I に定める。

2 学費とは、授業料、教育充実費をいう。

3 前項に定めるもの以外に、その他納入金を徴収することがある。

(入学検定料)

第 51 条 本学に入学を志願する者は、入学検定料を所定の期日までに納入しなければならない。

(入 学 金)

第 52 条 本学に入学する者は、入学金を所定の期日までに納入しなければならない。

(学費の納期)

第 53 条 学費は年額又はその 2 分の 1 ずつを、所定の期日までに納入しなければならない。

(再入学・復学及び除籍の場合の学費)

第 54 条 本学に再入学する者は、再入学料及び当該許可年度の学費を納入しなければならない。

2 復学する者は、復学する期の学費を納入しなければならない。

3 復籍する者は、復籍料及び当該年次の学費を復籍の許可時に納入しなければならない。

(学年の途中で卒業する場合の学費)

第 55 条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの期までの学費を納入しなければならない。

(退学及び停学の場合の学費)

第 56 条 前期又は後期の途中で退学し、第 39 条第 1 項第 3 号以外の事由により除籍された者の当該期の学費は徴収する。

2 停学期間中の学費は徴収する。

(休学、留学の場合の学費)

第 57 条 休学、留学期間中の学費は減額することができる。

2 学費の減免に関する必要な事項は、別に定める。

(研究生・科目等履修生・聴講生及び外国人特別学生の学費等)

第 58 条 研究生・科目等履修生・聴講生の入学金、検定料、学費の額は、表 II に定める。なお、外国人特別学生の学費の額は、表 I に準じる。ただし、学長が認めた場合は、科目等履修生・聴講生の学費を減額することができる。

(学費の免除及び徴収猶予)

第 59 条 特別の理由があると認められる者については、学費の全部もしくは一部を免除し、又は徴収を猶予することができる。

2 学費の免除及び徴収の猶予に関する必要な事項は、別に定める。

(納入した学費等)

第 60 条 納入した学費等は、還付しない。

第 9 節 学生規程

(学生規程)

第 61 条 本学の学生が守らなければならない規程は、別に定める。

第 10 節 公開講座

(公開講座)

第 62 条 本学において必要があると認めるときは、公開講座を設ける。

第 11 節 学則改定

(事務所掌)

第 62 条の 2 (削除)

(改 廃)

第 63 条 学則の改廃は、理事会が行う。

附 則

この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 9 年 6 月 9 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 12 年度入学以前の学生は従前の例により、変更する場合は別に定める。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 15 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 16 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 17 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 18 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 19 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 20 年度以前に入学した学生については

従前の例による。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 21 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 22 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 23 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 26 年 5 月 1 日から施行する。但し、平成 25 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 26 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 27 年 10 月 1 日から施行する。但し、平成 27 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 27 年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 28 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 33 条の規定は、平成 30 年度入学生から適用し、平成 29 年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 31(2019)年 4 月 1 日から施行する。但し、平成 30(2018)年度以前に入学した学生については、なお従前の例によることとするが、表Ⅲ中「(「中・高(保健体育)」・「養護教諭」の両免許を取得する場合)」に限り、平成 30(2018)年度に入学した学生から適用する。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。但し、令和 3 年度以前に入学した学生については従前の例による。

附 則

この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。但し、令和 4 年度以前に入学した学生については従前の例による。

表Ⅰ 入学検定料、入学金及び学費の額

1. 入学検定料 35,000 円
(なお、出願方法等に応じた入学検定料の額は、別途、募集要項で定める)
2. 入学金 社会福祉学部 200,000 円
看護学部 200,000 円
教育学部 200,000 円

3. 学 費 (単位円)

学部		1 年次		2 年次	3 年次	4 年次
社会福祉学部	年額	(含入学金)	1,210,000	1,010,000	1,010,000	1,010,000
	前期	授 業 料	390,000	390,000	390,000	390,000
		教育充実費	115,000	115,000	115,000	115,000
	後期	授 業 料	390,000	390,000	390,000	390,000
		教育充実費	115,000	115,000	115,000	115,000
	看護学部	年額	(含入学金)	1,750,000	1,550,000	1,550,000
前期		授 業 料	442,500	442,500	442,500	442,500
		教育充実費	332,500	332,500	332,500	332,500
後期		授 業 料	442,500	442,500	442,500	442,500
		教育充実費	332,500	332,500	332,500	332,500
教育学部 児童教育学科		年額	(含入学金)	1,250,000	1,050,000	1,050,000
	前期	授 業 料	425,000	425,000	425,000	425,000
		教育充実費	100,000	100,000	100,000	100,000
	後期	授 業 料	425,000	425,000	425,000	425,000
		教育充実費	100,000	100,000	100,000	100,000
	教育学部 保健教育学科	年額	(含入学金)	1,330,000	1,130,000	1,130,000
前期		授 業 料	435,000	435,000	435,000	435,000
		教育充実費	130,000	130,000	130,000	130,000
後期		授 業 料	435,000	435,000	435,000	435,000
		教育充実費	130,000	130,000	130,000	130,000

表Ⅱ 研究生・科目等履修生・聴講生の入学金、検定料及び学費の額 (単位円)

対 象	入 学 金	検 定 料	授 業 料 等 学 費
研 究 生	-	35,000	400,000(年間)
			200,000(半期)
科 目 等 履 修 生	10,000	5,000	12,000【講義科目】
			(1 単位につき)
聴 講 生	10,000	5,000	10,000【講義科目】
			(1 単位につき)

表Ⅲ 課程等の履修費の額 (単位円)

区 分		金 額	備 考
課 程 等 の 履 修 費	精神保健福祉士	80,000	左記には、各資格・免許を取得する前提で、所定の科目を体系的に履修する場合の実習・実験及び各資格免許に係る資格科目の科目単位の受講料を含む
	教員免許（養護教諭）	60,000	
	教員免許（小）	40,000	
	教員免許（幼）	40,000	
	保育士	60,000	
	教員免許（「中・高（保健体育）」・「養護教諭」の両免許を取得する場合）	60,000	
	保健師	60,000	
	助産師	200,000	

（なお、上記以外の資格に係る課程料は、別途定める。）

学則の変更事項を記載した書類

1 変更の事由

社会福祉学部社会福祉学科、看護学部看護学科、教育学部保健教育学科の入学定員数、編入学定員数及び収容定員数を変更するため

2 変更点

第3条2項 社会福祉学部社会福祉学科、看護学部看護学科、教育学部保健教育学科の入学定員、編入学定員及び収容定員の変更

附則 施行日の追加

関西福祉大学 学則 変更部分の新旧対照表

新条文					旧条文																																																				
<p>第3条 2 各学部・学科の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>編入学定員 (3年次)</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉学部</td> <td>社会福祉学科</td> <td><u>110名</u></td> <td></td> <td><u>440名</u></td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>看護学科</td> <td><u>90名</u></td> <td></td> <td><u>360名</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">教育学部</td> <td>児童教育学科</td> <td>80名</td> <td></td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>保健教育学科</td> <td><u>85名</u></td> <td></td> <td><u>340名</u></td> </tr> </tbody> </table>					学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	社会福祉学部	社会福祉学科	<u>110名</u>		<u>440名</u>	看護学部	看護学科	<u>90名</u>		<u>360名</u>	教育学部	児童教育学科	80名		320名	保健教育学科	<u>85名</u>		<u>340名</u>	<p>第3条 2 各学部・学科の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>編入学定員 (3年次)</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉学部</td> <td>社会福祉学科</td> <td>100名</td> <td><u>3名</u></td> <td><u>406名</u></td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>看護学科</td> <td><u>85名</u></td> <td><u>2名</u></td> <td><u>344名</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">教育学部</td> <td>児童教育学科</td> <td>80名</td> <td></td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>保健教育学科</td> <td><u>80名</u></td> <td></td> <td><u>320名</u></td> </tr> </tbody> </table>					学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	社会福祉学部	社会福祉学科	100名	<u>3名</u>	<u>406名</u>	看護学部	看護学科	<u>85名</u>	<u>2名</u>	<u>344名</u>	教育学部	児童教育学科	80名		320名	保健教育学科	<u>80名</u>		<u>320名</u>
学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員																																																					
社会福祉学部	社会福祉学科	<u>110名</u>		<u>440名</u>																																																					
看護学部	看護学科	<u>90名</u>		<u>360名</u>																																																					
教育学部	児童教育学科	80名		320名																																																					
	保健教育学科	<u>85名</u>		<u>340名</u>																																																					
学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員																																																					
社会福祉学部	社会福祉学科	100名	<u>3名</u>	<u>406名</u>																																																					
看護学部	看護学科	<u>85名</u>	<u>2名</u>	<u>344名</u>																																																					
教育学部	児童教育学科	80名		320名																																																					
	保健教育学科	<u>80名</u>		<u>320名</u>																																																					
<p>附則 <u>この学則は、令和5年4月1日から施行する。但し、令和4年度以前に入学した学生については従前の例による。</u></p>																																																									

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	P. 2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	P. 2
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	P. 9
(1) 教育課程の変更内容	P. 9
(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	P. 12
(3) 教員組織の変更内容	P. 13
(4) 大学全体の施設・設備の変更内容	P. 14

学則変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

関西福祉大学は、2023年4月1日より、入学定員345名を365名に20名増員し、3年次編入学定員5名を0名に募集停止し、大学全体の収容定員を1,390名から1,460名に変更する予定である。学部学科別には、社会福祉学部社会福祉学科の入学定員100名を10名増員し、3年次編入学定員3名を募集停止する。看護学部看護学科の入学定員85名を5名増員し、3年次編入学定員2名を募集停止する。教育学部保健教育学科の入学定員80名を5名増員する予定である。

大学全体の入学定員及び収容定員は、以下の（表1）のとおりである。

（表1）収容定員増の内容及び内訳（単位：名）

学部	学科	変更前		変更後		増減	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
社会福祉学部	社会福祉学科	100	400	110	440	10	40
	社会福祉学科 3年次編入学	3	6	0	0	△3	△6
看護学部	看護学科	85	340	90	360	5	20
	看護学科編入学 3年次編入学	2	4	0	0	△2	△4
教育学部	児童教育学科	80	320	80	320	0	0
	保健教育学科	80	320	85	340	5	20
総計		345	1,390	365	1,460	15	70

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

関西福祉大学（以下、「本学」という。）を設置する学校法人関西金光学園は、1922年（大正11年）に創立した進修裁縫女学校をその起源とし、学制改革による設置校の合併や名称変更を経て、現在、本学以外に中学校2校、高等学校3校を設置・運営している。これらの学校においては、「人間は皆等しく神の氏子である」という金光教の教義に基づき、教育を推進してきた。本学は、この教育実績と経験を基盤として設置されたものであり、「人間平等」「個性尊重」「和と感謝」を建学の精神としている。

本学は1997年4月に、兵庫県赤穂市との公私協力方式により、関西初の福祉系単科大学として誕生した。この建学の精神は、本学の基本理念の第一番目に位置づけられ、教育を展開していく上での基盤的事項となっている。

【関西福祉大学の基本理念】

- ①「人間平等」「個性尊重」「和と感謝」の精神に基づく真の教育
- ②福祉の心を持ち未来の福祉社会を創造する人材の育成
- ③地域社会の発展に貢献する開かれた大学
- ④大学の理念を実現する高い学術研究と教育活動

この基本理念のめざすところは、保健・医療・福祉・教育に携わる有用な人材の育成、地域の保健・福祉社会の発展、教育の振興及び学術・文化の向上への寄与等、地域社会の住民に様々な学習機会を提供する生涯学習機関としての役割を果たすことにある。

本学は、その後、2006年度に看護学部、2009年度には大学院社会福祉学研究科を開設した。そして2012年度には、大学院看護学研究科を開設、2014年度には、発達教育学部（現：教育学部）児童教育学科を開設。さらに2017年度には、大学院看護学研究科に博士後期課程を開設、2018年度には大学院教育学研究科、教育学部に保健教育学科を開設した。

このように、本学は、学部から大学院博士課程までの一貫した教育・研究活動の基盤整備に努め、開学以来一貫して、建学の精神と基本理念を踏まえた教育・研究活動を展開するとともに、「地域社会の発展に貢献する開かれた大学」であることを強く意識しながら、兵庫県赤穂市をはじめとする地域社会との良好な関係の維持・充実に努め、約5,900人の卒業生を送り出し、地域社会の保健・医療・福祉・教育の充実とその質的向上に貢献してきた。

この度、収容定員増を計画している社会福祉学部社会福祉学科の直近4カ年の志願状況は、志願倍率が2.4倍を超えている。看護学部看護学科の直近4カ年の志願状況は、志願倍率が7.0倍を超えている。教育学部保健教育学科の直近4カ年の志願状況は、志願倍率が2.5倍を超えており、2020年度以降は概ね3倍程度を維持している（表2）。

収容定員増を計画した理由は、本学への入学を希望する受験者の希望を満たすことの他に、社会における福祉・看護・保健教育の各分野に従事する人材に係る人的需要を充足することがあげられる。

社会福祉学部社会福祉学科では、人間の尊厳を大切にする『福祉の心』を基盤とする豊かな教養と、社会福祉の価値・知識・技術を身につけ、広い視野から福祉社会の発展に大きく貢献できる人材を育成することを目的としている。社会福祉学科の就職実績は、直近4カ年をみると、概ね100%に近い就職率である（表3）。

次に、福祉人材の社会的、地域的な人材需要の動向について、社会福祉法人全国社会福祉協議会中央福祉人材センターにおいて各年度の求人数・求職数が報告されており、直近4カ年の統計では、全国では4倍を超える求人倍率となっており、社会福祉学科の就職地域として最も多い兵庫県では概ね5倍を超える求人倍率となっている（表4）。

また、「地域を支える福祉人材 確保・育成・定着のための取組方策2021」（社会福祉法人全国社会福祉協議会製作委員会）において、少子化・高齢化が進行し、労働力人口も減少傾向にあるなかで、医療・福祉分野の就業者数は増加することが予想されており、福祉分野における人材確保はますます厳しい状況になることが見込まれているとの報告がなされている。このこ

とから、福祉人材は全国的にも地域的にも今後需要が高まることが予想でき、福祉人材の供給は急務であると考えている。

(表 2) 各学科の直近 4 カ年の志願・入学者推移

学科	項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
社会福祉	入学定員	100	100	100	100
	志願者数	280	382	367	243
	受験者数	272	367	357	236
	合格者数	202	259	209	177
	入学者数	98	107	121	119
	志願倍率	2.80	3.82	3.67	2.43
	入学定員超過率	0.98	1.07	1.21	1.19
学科	項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
看護	入学定員	85	85	85	85
	志願者数	715	837	606	598
	受験者数	702	826	588	580
	合格者数	312	254	174	190
	入学者数	92	106	93	91
	志願倍率	8.41	9.85	7.13	7.04
	入学定員超過率	1.08	1.24	1.09	1.07
学科	項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
保健教育	入学定員	80	80	80	80
	志願者数	205	295	253	228
	受験者数	204	289	244	221
	合格者数	159	208	170	164
	入学者数	81	95	99	88
	志願倍率	2.56	3.69	3.16	2.85
	入学定員超過率	1.01	1.18	1.23	1.10

(表3) 関西福祉大学各学科就職率推移

学科	項目	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒
社会福祉	就職希望者数	102	112	114	84
	就職者数	101	111	114	84
	就職率	99.0%	99.1%	100.0%	100.0%
看護	就職希望者数	81	79	83	95
	就職者数	81	79	83	95
	就職率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
保健教育	就職希望者数	-	-	-	62
	就職者数	-	-	-	62
	就職率	-	-	-	100.0%

(表4) 福祉人事求人数・求職者数状況

地域	項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
全国	求人数	75,550	77,297	72,924	64,845
	求職者数	16,863	17,292	16,899	14,318
	求人倍率	4.48	4.47	4.32	4.53
兵庫県	求人数	906	1,131	1,152	1,006
	求職者数	159	181	168	203
	求人倍率	5.70	6.25	6.86	4.96

出典：「福祉人材センター・バンク職業紹介実績報告」全国社会福祉協議会中央福祉人材センターより

次に、看護学部看護学科では、生命の尊厳と人権を尊重し、且つ擁護する倫理観を培うとともに、その人がその人らしく生きられるような「ヒューマンケア」を提供し、保健・医療・福祉・学校における役割について総合的に捉え、社会の多様なニーズに対応し、地域社会及び国際社会に貢献しうる質の高い実践能力のある看護専門職者を育成することを目的としている。看護学科の就職状況としては、直近4カ年の就職率は100%である(表3)。

看護師の全国的な人材需要の動向についてであるが、「第七次看護職員需給見通しに関する検討会」(厚生労働省)において現在の看護職員の供給不足に加え、2025年度の看護職員の需要数は実人員でおよそ191万8千人から199万7千人と推計されている。その一方で、2025年度の供給数は179万8千人と推計されており、中長期的な需給推計について供給不足であると推計している。また、公益社団法人日本看護協会において各年度の看護職求人数・求職数が報告されており、直近4カ年の報告書から求人倍率をみると、いずれも高い数値を示している(表5)。本学所在の兵庫県の看護職求人数・求職数については、全国に比べさらに高い数値を示しており(表6)、中長期的にも供給不足である推計からも、地域的にみても今後も需要は続く

考えられる。

(表 5) 全国看護職求人・求職・求人倍率推移 (2017 年～2020 年)

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
求人	159,891	157,087	158,602	156,263
求職	67,614	67,620	67,710	76,244
求人倍率	2.36	2.32	2.34	2.05

出典：「ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書」(2017～2020)

(表 6) 兵庫県看護職求人・求職・求人倍率推移 (2017 年～2020 年)

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
求人	5,288	5,705	5,278	5,435
求職	1,212	1,493	1,591	1,784
求人倍率	4.36	3.82	3.32	3.05

出典：「ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書」(2017～2020)

次に、教育学部保健教育学科では、保健体育（保健学習・保健指導）の知識を基盤としながら、人々の健康保持・増進を図ることができる能力を育成し、青少年の心と身体の健やかな発達に関わる知識に加え、救急看護や精神保健などの看護学的知識を学ぶことにより、確かな知識を持ちながら課題解決のために行動できる実践力を持った学校教員を育成することを目的としている。また、ディプロマポリシーにおいて、Ⅰ：教科に関する専門知識と同時に幅広い教養を持ち、運動技術に関わる指導のみならず、青少年が明るく豊かな生活を営む心や態度を育てることのできる保健体育教諭、Ⅱ：青少年の心と身体の健やかな発達を担い、学内外の機関と連携しながらメンタルヘルス問題や健康管理・維持教育に貢献できる養護教諭、Ⅲ：保健体育の知識や技術を活かし、教育・スポーツ関係企業、公務員（警察、消防等）等、地域社会で活躍できる人材となる能力・素養をもつことを卒業認定方針として示している。

保健教育学科は 2018 年 4 月に開設し、2022 年 3 月に初めての卒業生を輩出した。1 期生の就職状況は、保健体育教諭・養護教諭は 18 名（29.0%）、スポーツ関連・一般企業 33 名（53.2%）、警察、消防などの公務員 7 名（11.3%）となっている【資料 1】。特に、保健体育教諭・養護教諭、民間企業の就職者が多く、卒業生全体の 8 割を占めているため、それらの人材需要の動向を見てみる。

近隣府県（岡山県・兵庫県・大阪府）の 2019 年度から 2022 年度までの 4 カ年の教員採用試験の結果を概観してみると、中学校保健体育科については、兵庫県・大阪府では安定的な

採用があり、岡山県では 2020 年度までは 2 桁の採用があり直近 2 年は 1 桁であるが採用はある。高等学校保健体育科については、兵庫県で 14 人から 24 人、岡山県では 3 人～4 人と安定しており、大阪府で 2019 年度の 8 人から 2022 年度 37 人と採用が増えている【資料 2】。養護教諭では、全体的に安定した数の採用が見られる【資料 3】。

また、今後の需要の見通しを得る為に、学校教員統計調査に基づいて中学校、高等学校教員の退職者数について予測した。退職者数イコール採用者数とは言えないが、傾向としてとらえることは可能と考える。収容定員増を行う 2023 年度入学者が採用試験を受験する 2026 年度の各教員の退職者数を 100 として、以降 15 年間の増減推移を表してみると、公立高等学校は、岡山県では減少傾向であるが、兵庫県では 2033 年までは概ね 110 程度で安定しており、大阪府では、2028 年まで減少するがそれ以降は退職者が増加しているため需要が高まることが推測される【資料 4】。

公立中学校では、岡山県は減少傾向であるが 63～98 程度で安定している。一方、兵庫県は 2032 年に 129.1 まで増加し、そこから減少するものの 91.1～123.5 で安定する。大阪府については、退職者が急増しており、長期的に需要が高まることが推測される【資料 5】。

このように、近隣府県での教員全体の退職者数の動向から見て、保健体育教諭・養護教諭の採用数についても、一定数の規模で概ね推移していくことが推測される。

また、次に民間企業の人材需要であるが、少子高齢化が進行する中で、全国的に人材不足が深刻化している。直近 4 カ年の民間企業における大卒求人倍率の推移をみると、2021 年 3 月卒と 2020 年 3 月卒はコロナ禍の影響もあったと推察されるが、いずれも高い水準となっている（表 7）。この状況が急速に変化することは想定しづらく、民間企業の人材需要についても今後も継続的に高い水準で推移することが予想できる。

本学の就職状況と求人状況について、直近 4 カ年を見ると、いずれの学科も 100%に近い就職率となっている（表 3）。また、求人状況について、本学に直接求人があった求人数のみの集計を見ても、就職希望者 1 人あたりの求人倍率は 5.6 倍を超えており、本学の人材が求められていることが明らかである（表 8）。

（表 7）大卒求人総数および大卒企業就職希望者数・求人倍率の推移

項目	2019 年 3 月卒	2020 年 3 月卒	2021 年 3 月卒	2022 年 3 月卒
大卒求人総数	813,500	804,700	683,000	676,400
大卒企業就職希望者数	432,200	439,500	447,100	450,000
求人倍率	1.88	1.83	1.53	1.50

【資料 6:大卒求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移より】

(表 8) 関西福祉大学求人倍率推移

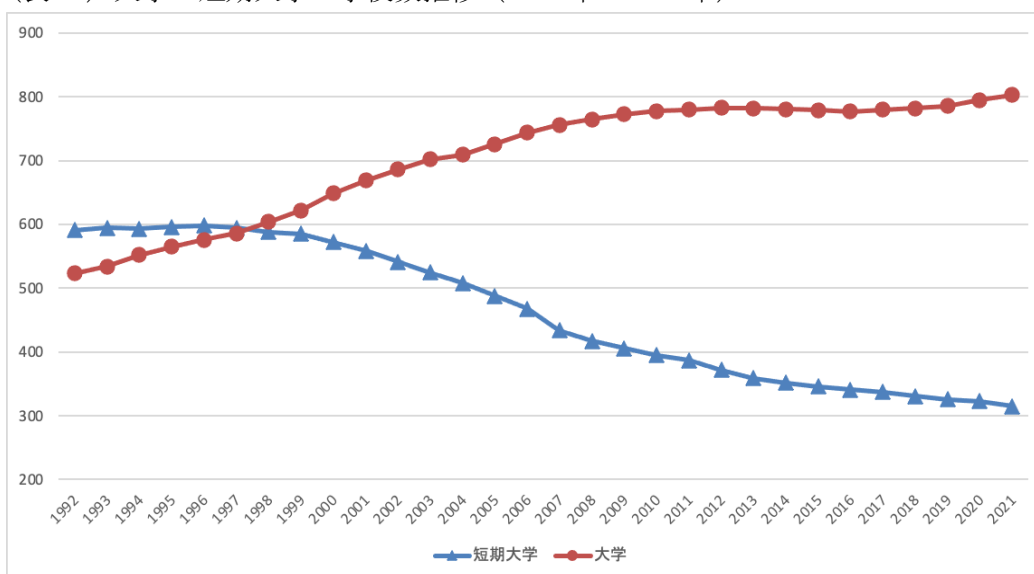
項目	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒
求人数	2,361	2,657	1,595	1,793
求職者数	249	251	264	316
求人倍率	9.48	10.59	6.04	5.67

一方で、3年次編入学については、直近4カ年の入学者数は定員を満たしていない状況である(表9)。短大の4年制大学への移行(表10)などを原因に3年次編入学のニーズはなくなってきており、この度、社会福祉学科、看護学科の編入学定員を廃止する。

(表 9) 関西福祉大学 編入学志願者数等

年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
社会福祉学科 3年次編入	志願者数	1	1	0	1
	受験者数	1	1	0	1
	合格者数	1	1	0	1
	入学者数	1	1	0	1
看護学科 3年次編入	志願者数	2	2	0	0
	受験者数	1	2	0	0
	合格者数	0	0	0	0
	入学者数	0	0	0	0

(表 10) 大学・短期大学 学校数推移 (1992年～2021年)



【学校基本調査(文部科学省)より作成】

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容

① 社会福祉学部 社会福祉学科

社会福祉学部社会福祉学科のディプロマポリシーは、次に示す3項目の能力・素養を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与することとしている。

- (1) どのような時代が来ても、ほんとうに大切なことを見極められる教養と人間性
- (2) 人や地域が抱えている課題を見極め、その課題を改善・解決できる高度な専門性
- (3) 身につけた教養と専門性を、地域社会の貢献に結びつける社会性と公共性

上記の能力・素養を身につけるため、カリキュラムポリシーとして、建学の精神を根底に捉えた「教養」「専門」「実習」という授業形態を踏まえ、カリキュラムを構成している。そして、それぞれの授業が相互に関連することで最大限の教育効果が発揮できるよう、体系的にカリキュラムを構成している。こうしたカリキュラム構成により、各学年で次の内容を修得する。

- 1年次：ものごとの本質を見極められる教養と福祉の心を育み、社会福祉の価値と基礎的知識を理解する。
- 2年次：社会福祉の専門的知識・技術を修得すると同時に、行動力と対話力を身につける。
- 3年次：演習と実習を通して、課題の改善・解決ができる実践力を身につける。
- 4年次：教養、専門性、社会性を自分自身の中に統合することで、地域社会に貢献できる人となる。

社会福祉学科では、今回の収容定員増に伴う教育課程等の変更は行わないが、教育課程の充実を図るため、2019年度より社会福祉学科の教養科目として「実践的教養論」、「実践的公共論」を開講し、学外での学びの場を設けている。また、2020年度に兵庫県内の福祉施設（21カ所）と協定を締結し、「福祉インターンシップ」として実践的な学びの場を提供している。さらに、2021年度のカリキュラム改正により2022年度には「ソーシャルワーク入門」、「福祉基礎実習」を開講し、より実践的な授業を充実させている。

また、社会福祉学科では入学後に希望する資格や進路に合わせ、5つのコース「総合福祉コース」「心理福祉コース」「医療福祉コース」「こども福祉コース」「スポーツ福祉コース」を設けている。中でも福祉とスポーツの両面から理解を深める「スポーツ福祉コース」は、教育内容を充実させるため、2021年度より「JATI認定トレーニング指導者（認定試験受験資格）」を取得可能とし、トレーニング指導者やスポーツ関連企業などより広い業界で活躍ができる人材育成をおこなっている。

2022年度より、建学の精神を軸とした全学共通の科目として「リベラルアーツとSDGs」、社会で求められている数理・データサイエンス・AI教育として「データサイエンス概論」を新たな教養科目として開講し、教育の充実を図っている。

以上のように教育課程を充実させ、効果的な教育を行うことは収容定員変更後も継続して行うことにより、変更前と同等以上の内容を担保することができる。

② 看護学部 看護学科

看護学部看護学科のディプロマポリシーは、次に示す4項目の能力・素養を身につけ、かつ

所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与することとしている。

- (1) 豊かな人間性を育み、ヒューマンケアリングが実践できる能力
- (2) 看護の独自性を発揮し、保健・医療・福祉チームで連携・協働できる能力
- (3) 国際社会及び地域社会の健康に対する多様なニーズに貢献できる能力
- (4) ヒューマンケアに対する科学的探究心や創造性をもち、生涯学習へ主体的に取り組む姿勢

上記の能力・素養を身につけるため、カリキュラムポリシーとして、「教養科目」「看護実践の基盤」「看護の発展」の枠組みで構成する。「教養科目」では、人文・社会・自然に関する諸科学を基盤として、豊かな人間性と国際的な視野・教養を深める。「看護実践の基盤」では、看護の理論的枠組みを理解する。「看護の発展」では、あらゆる健康レベルに対応する看護の知識・応用技術を学修する。これらのカリキュラム構成により、各学年で次の内容を身につける。

- 1年次：豊かな人間性と社会的マナーをしっかりと身につけ、看護を理解し、看護に対する興味・関心をもつ。
- 2年次：人の身体と心と社会に関心をもち、専門知識を用いて対象の状況に応じた看護を考える。
- 3年次：演習及び実習を通して得た知識・技術を活用し、看護の役割と関連職種との連携について関心を深め、基礎的な看護を実践できる。
- 4年次：看護学習の集大成として、対象となる全ての人々のニーズを尊重し、看護の担い手としての責任と主体的に研鑽する姿勢を身につけ、看護専門職者としての自覚をもつ。

この度の収容定員増による教育課程の変更は行わないが、更なる看護の発展並びに地域の保健・健康促進に寄与すべく、2022年度に「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」の改正に伴い、教育課程の変更を行っている。

この改正では、地域包括ケアシステムの推進に向け、対象の多様性・複雑性に対応した看護を創造すべく、更なる看護実践能力が求められ、看護学科では「ヒューマンケアリング」を軸に、地域包括ケアシステムの中での看護の役割を明確化し、高度な専門性の育成と人間としての成熟を促す全人的な養育をめざして、教育内容及び教育方法を見直し、講義、演習、実習を有機的に組み合わせた教育課程に変更する改正を行った。科目として「症状の成り立ち」（必修）、保健師課程「保健医療福祉行政論Ⅱ」（必修）、助産師課程「新生児・乳幼児期の助産診断技術とケア」（必修）を新設し、求められる人材養成のための教育内容の充実を図っている。

また、2022年度より、一般教養の充実を図っている。建学の精神を軸とした全学共通科目として「リベラルアーツとSDGs」、社会で求められている数理・データサイエンス・AI教育として「データサイエンス概論」を新規開講した。また、養護教諭課程に「ICT活用の理論と方法」を新たな科目として開講し、充実を図っている。

以上のように教育内容を充実させ、効果的な教育を行うことは収容定員変更後も継続して行うことにより、変更前と同等以上の内容を担保することができる。

③ 教育学部 保健教育学科

教育学部保健教育学科のディプロマポリシーは、保健体育（保健学習・保健指導）の知識を基盤としながら、人々の健康保持・増進を図ることができる能力を育成し、青少年の心と身体の健やかな発達に関わる知識に加え、救急看護や精神保健などの看護学的知識を学ぶことにより、確かな知識を持ちながら課題解決のために行動できる実践力を持った学校教員を育成することを目的とし、次の能力・素養をもつことを卒業認定方針として示している。

- (1) 教科に関する専門知識と同時に幅広い教養を持ち、運動技術に関わる指導のみならず、青少年が明るく豊かな生活を営む心や態度を育てることのできる保健体育教諭
- (2) 青少年の心と身体の健やかな発達を担い、学内外の機関と連携しながらメンタルヘルス問題や健康管理・維持教育に貢献できる養護教諭
- (3) 保健体育の知識や技術を活かし、教育・スポーツ関係企業、公務員（警察、消防等）等、地域社会で活躍できる人材

上記の能力・素養を身につけるため、カリキュラムポリシーとして、保健体育（保健学習・保健指導）の知識を基盤としながら、人々の健康保持・増進を図ることができる能力を育成し、青少年の心と身体の健やかな発達に関わる知識に加え、救急処置や学校看護、精神保健などの看護学的知識を学ぶことにより、確かな知識を持ちながら課題解決のために行動できる実践力を持った学校教員を育成する。

1 年次： 外国語・日本国憲法等の基礎教養と思春期・青年期を中心とした心身の発達及び教育原理（思想・歴史的背景）等に関する基礎的な知識を修得するとともに、保健体育教諭の役割及び職務内容等や保健体育教諭に求められる体育実技（球技Ⅰ）、養護教諭、保健体育教諭双方に求められる運動生理学、公衆衛生学に関する基礎的な知識を修得し、健康管理、身体機能の維持教育に関する知識について理解を深める。

2 年次： 生徒の指導についての知識等の教職課程における専門知識を修得し、人間の心身の成長発達及び保健体育の社会的意義等についての知識を深める。さらに、保健体育の指導法及び学校救急処置等の看護学に関する基礎知識の修得、教育の方法や教育相談の理論並びに、小児保健、精神保健等の学校保健の内容についての知識を深める。また、保健体育の指導法及び教育目標に関する基礎知識を修得し、3年次からの教育実習に向けた準備を行う。

3 年次： 教員に必要な精神保健や道徳教育、教育制度、特別支援教育等の基礎的な知識を身につけるとともに、保健体育教諭として必要な知識や技術を学び、後期の教育実習において実践的に活用できるよう準備をする。そして演習活動において、卒業研究のテーマ・課題を明確化し、卒業研究作成の計画を立てる。また、これまでに修得・深化させた専門知識を教育実習で応用・実践する。さらに、教育実習の反省を基に得られた課題の整理と明確化を行う。

4 年次： これまでに修得・深化させた専門知識と教育実習で得られた実践体験を実際の教育現場等で発展させるとともに、演習活動において明確化したテーマ・課題を深め、卒業研究作成計画に沿って作成を進める。また、教職課程の集大成として、

保健教育に関する専門的・実践的な知識及び指導方法の確認を行い、教育実践の基盤となる実践的指導力を身につける。さらに、演習活動において、卒業研究を論文と抄録にまとめ、発表を行う。

教育学部保健教育学科は2018年度に開設し、2022年3月に1期生を輩出し、ディプロマポリシーのとおり、教員、警察・消防などの公務員、民間企業など幅広い分野で活躍している。

この度の収容定員増に伴う教育課程等の変更は予定していないが、教育課程の充実として、2019年度よりミズノ株式会社との連携により「ミズノプレイリーダー3級」資格を取得でき、取得後は学内外でのイベントで地域の子どもたちに運動習慣をつけることを支援する実践の場も設けている。

また、2022年度より、教養科目の充実を図っている。建学の精神を軸とした全学共通科目として「リベラルアーツとSDGs」、社会で求められている数理・データサイエンス・AI教育として「データサイエンス概論」を教養教育の充実として新規開講した。また、教職課程に「ICT活用の理論と方法」を新たな科目として開講し、専門科目の充実も図っている。

以上のように教育課程を充実させ、効果的な教育を行うことは収容定員変更後も継続して行うことにより、変更前と同等以上の内容を担保することができる。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

① 社会福祉学部 社会福祉学科

教育方法については、従来から少人数による教育を基礎としており、引き続き演習教育や社会福祉現場実習等の指導体制の維持及びさらなる充実を図る。

具体的には、開学当初より取り組んでいる「コミュニティアワー」は福祉実践の場であるコミュニティを実際に観察し、得られる経験を通して、“社会福祉”とは何かを考える2年次の演習としてクラスごとにテーマを設定し、1年間かけて調査・実践・報告会を実施する学びである。2021年度から「SDGs」をテーマに実践的な学びを深めている。

また、前述したように2019年度より社会福祉学科の教養科目として「実践的教養論」、「実践的公共論」を開講し、学外での学びを充実させている。また、2020年度に兵庫県内の福祉施設(21カ所)と協定を締結し、「福祉インターンシップ」として実践的な学びの場を提供している。さらに、2021年度のカリキュラム改正により2022年度には「ソーシャルワーク入門」と「福祉基礎実習」の科目を開講し、より実践的な授業を充実させており、実習先の確保も可能である。

履修方法については、各学期はじめのオリエンテーションにおいて説明を行い、履修指導を行っている。その後も専任教員がアカデミック・アドバイザーとして学生一人ひとりを担当し、学生の成績や履修状況等を考慮しながら、履修相談や学生指導を行う体制を確立している。

以上のことから、この度の収容定員増に伴う教育方法、履修方法の変更は予定していないが、変更前と同等以上の内容が担保できると考えている。

② 看護学部 看護学科

教育方法については、従来から少人数による教育を基礎としており、引き続き演習教育や臨床実習等の指導体制の維持及びさらなる充実を図る。また、より臨床現場に近い環境で学内の教育ができるよう、2021年度にシミュレーションルームを設置し、シミュレーション教育の充実、タブレット及び模擬電子カルテ等のICT機器を使用した授業も実施し、教育効果を上げている。なお、臨床実習についても、実習先の確保は可能であるため、収容定員増後にも十分な教育ができると考えている。

履修方法については、各学期はじめのオリエンテーションにおいて説明を行い、履修指導を行っている。専任教員がアカデミック・アドバイザーとして学生一人ひとりを担当し、学生の成績や履修状況等を考慮しながら、履修相談や学生指導を行う体制を確立している。

以上のことから、この度の収容定員増に伴う教育方法、履修方法の変更は予定していないが、変更前と同等以上の内容が担保できると考えている。

③ 教育学部 保健教育学科

教育方法については、知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態をとっている。態度・志向性及び技術や技能の修得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態をとっている。実践力を育成するために、演習・実習等、理論と実践を統合するための科目を重視している。また、理論と実践を統合する能力を身につけることを目的とする教育内容については、実習形式を主な形態としている。

演習では、フィールドワークを取り入れながら、学生が現場体験とディスカッション等を通じて、課題発見能力や問題解決能力を身につけている。2022年度から「ICT活用の理論と方法」の新規科目を開設し、タブレットを使用するなど、より教育現場に近い教育を実施することができている。

履修方法については、各学期はじめのオリエンテーションにおいて説明を行い、履修指導を行っている。専任教員がアカデミック・アドバイザーとして学生一人ひとりを担当し、学生の成績や履修状況等を考慮しながら、履修相談や学生指導を行う体制を確立している。

以上のことから、この度の収容定員増に伴う教育方法、履修方法の変更は予定していないが、変更前と同等以上の内容が担保できると考えている。

(3) 教員組織の変更内容

① 社会福祉学部 社会福祉学科

社会福祉学科を編成する専任教員は17名であり、大学設置基準で定められている社会学・社会福祉学関係の専任教員数14名を十分満たしており、定員増加に対する授業等への対応については十分可能である。また、前述の主にスポーツ福祉コース担当として、2021年度に専任教員に1名を採用し、教員体制を強化している。2024年以降の退職者等の補充も予定しており、教育の質を維持できると考えている。

② 看護学部 看護学科

看護学科を編成する専任教員は 28 名、助手は 4 名であり、大学設置基準で定められている保健衛生学関係(看護学関係)の専任教員数は、12 名であることからこれを十分満たしている。教育体制の充実のため、2023 年度に 3 名の専任教員採用を予定している。また、2024 年度以降の退職者等の補充も予定しており、教育の質を維持することができると考えている。

③ 教育学部 保健教育学科

保健教育学科を編成する専任教員は 13 名であり、大学設置基準で定められている教育学・保育学関係の 2 以上の学科で組織する場合の 1 学科あたりの専任教員数は、6 名であることから、十分に満たしており、定員増加に対する授業等への対応は十分可能である。2024 年以降の退職者等についても補充を予定しており、教育の質を維持することができると考えている。

また、教育実習指導や採用試験対策を充実させるため、教職センターの組織を強化しており、教育現場の実務経験が豊富な教員を 2 名配置し、非常勤教員 2 名と事務職員 2 名の 6 名体制とし、正課の授業と有機的な連携を図っている。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

教室においては、既存校舎には 100 名以上収容できる教室が 12 室整備されており、この度の収容定員増にも対応できる。

また、設備等については、2021 年度に Wi-Fi アクセスポイントの増設、各教室の AV 機器の更新、タブレットの購入、マルチメディア教室のパソコン更新を行い、学習環境の充実を図っている。

看護技術指導に必要な各実習室のベッドや必要な備品については、十分整備されており、この度、定員が 90 名となった場合にも対応が可能である。さらに 2021 年度にシミュレーション機能を備えた実習室を増設しており、シミュレーター、タブレット、模擬電子カルテの導入など教育効果がより高い設備を備えている。

また、社会福祉学科及び保健教育学科で使用する体育施設としては、2017 年度に第 2 体育館を新設し、学生が授業や課外のスポーツ活動を通じて充実した学生生活を送れるよう配慮している。さらに 2021 年度には学生駐車場の増設を行い、通学者の利便性を図っている。

このように本学では、教育整備に積極的に取り組んでおり、施設・設備については、収容定員増後も同等以上の内容を担保できると考えている。

学則の変更の趣旨等を記載した書類（添付資料）

目 次

教育課程等の概要	P. 2
資料 1 関西福祉大学教育学部保健教育学科 就職状況（分野）	P. 13
資料 2 中高保健体育教諭合格者数推移（2019 年度～2022 年度）	P. 14
資料 3 養護教諭合格者数推移（2019 年度～2022 年度）	P. 15
資料 4 公立高等学校教員退職者推移（2026 年～2040 年）	P. 16
資料 5 公立中学校教員退職者推移（2026 年～2040 年）	P. 16
資料 6 大卒求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移	P. 17

教育課程等の概要																	
(社会福祉学部社会福祉学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養科目	人文科学系	心理学基礎論	1 後	2		○								兼3	オムニバス 共同		
	健康体育法	1 前	2		○					1				兼1			
	運動の科学	2 後	2		○									兼1			
	日本史	1 前	2		○									兼1			
	哲学	1 後	2		○									兼1			
	人間関係学	1 前	2		○				1								
	実践的教養論	1 通年	2			○			1								
	小計(7科目)	—	0	14	0	—	—	—	2	0	1	0	0	兼6			
	社会科学系	くらしと日本国憲法	1 前	2		○			1							兼1 共同(一部)	
	くらしと法(国際法を含む)	1 後	2		○			1									
	くらしと経済(国際経済を含む)	1 後	2		○												
	赤穂学	1 後	2		○			2									
	家族社会学	2 前	2		○			1									
	地域社会学	2 前	2		○												
	リベラルアーツとSDGs	1 後	2		○			4			1			兼20			
	実践的公共論	1 通年	2			○		1		1							
	小計(8科目)	—	0	16	0	—	—	—	7	0	1	1	0	兼22			
	情報語学系	データサイエンス概論	1 前	2		○				1	1						共同
	情報科学	1 前	2		○												兼1
	情報処理	1 後	2		○												兼1
	国語表現法	1 前	2		○												兼1
基礎総合英語Ⅰ	1 前	2		○										兼1			
基礎総合英語Ⅱ	1 後	2		○										兼1			
英会話	1 前	2		○										兼1			
手話(基礎)	1 後	2		○										兼1			
小計(8科目)	—	6	10	0	—	—	—	0	1	1	0	0	兼6				
人間理解の基礎	生と死の教育	1 前	2		○			1						兼1 兼1			
臨床への宗教学	2 前	2		○													
人間と宗教	2 後	2		○													
スピリチュアル支援論	2 後	2		○			1										
小計(4科目)	—	0	8	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼2				
キャリア形成	キャリア形成Ⅰ	1 前	2		○			1	1						オムニバス・共同(一部)		
キャリア形成Ⅱ	1 後	2		○			1	1							オムニバス・共同(一部)		
キャリア形成Ⅲ	2 前	2		○			1										
小計(3科目)	—	6	0	0	—	—	—	2	1	0	0	0					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 社会福祉の基礎	心理学と心理的支援	1 前	2			○									兼1
	社会学と社会システム	1 前	2			○									兼1
	社会福祉の原理と政策 I	1 前	2			○			1						
	社会福祉の原理と政策 II	3 後		2		○			1						
	ソーシャルワークの基盤と専門職	1 前		2		○			1						
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	1 後		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法 I	2 前		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法 II	2 前		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	2 後		2		○			1						
	ソーシャルワークの理論と方法(専門) II	2 後		2		○			1						
	社会福祉調査の基礎	3 前		2		○			1						
	地域福祉と包括的支援体制 I	1 後		2		○			1						
	地域福祉と包括的支援体制 II	3 前		2		○			1						
	福祉サービスの組織と経営	3 前		2		○									兼1
	社会保障 I	2 前		2		○			1						
	社会保障 II	2 後		2		○			1						
	高齢者福祉	1 後		2		○			1						
	障害者福祉 I	1 後		2		○				1					
	障害者福祉 II	3 後		2		○			1						
	児童・家庭福祉	1 後		2		○						1			
	貧困に対する支援	2 前		2		○			1						
	医学概論	1 前		2		○			1						
	保健医療と福祉	3 前		2		○									兼1
	権利擁護を支える法制度	3 前		2		○			1						
	刑事司法と福祉	4 前		2		○			1						
小計 (25科目)	—		6	44	0	—			9	1	0	1	0		兼4
演習科目	ソーシャルワーク演習	2 後		2			○		3	1		1			
	ソーシャルワーク演習(専門) I	3 前		4			○		3	1		1			
	ソーシャルワーク演習(専門) II	3 後		4			○		3	1		1			
	小計 (3科目)	—		0	10	0	—		4	2	0	1	0		
実習科目	ソーシャルワーク入門	2 前		2				○	3	1		1			
	福祉基礎実習	2 前		1				○	3	1		1			
	ソーシャルワーク実習指導 I	2 後		1				○	3	1		1			
	ソーシャルワーク実習指導 II	3 前		1				○	5	2					
	ソーシャルワーク実習指導 III	3 後		1				○	5	2					
	ソーシャルワーク実習 I	2 後		2				○	5	2					
	ソーシャルワーク実習 II	3 前		6				○	5	2					
小計 (7科目)	—		0	14	0	—		5	2	0	2	0			

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	社会福祉の応用	福祉哲学	2 後	2		○			1								
		国際開発と渡航医学	2 後	2		○			1								
		精神医学	1 前	4		○			1								
		精神保健学Ⅰ	2 前	2		○			1								
		精神保健学Ⅱ	2 後	2		○			1								
		精神障害リハビリテーション論	2 後	2		○			1								
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)	3 後	4		○			1								
		精神保健福祉の原理	2 前	4		○						1					
		精神保健福祉制度論	2 後	2		○						1					
		介護福祉論	2 後	2		○				1							兼1
		就労支援と福祉計画	4 前	2		○				1							
		教育社会学	2 前	2		○											兼1
		カウンセリング概論	3 後	2		○							1				
		コミュニケーション心理学	3 後	2		○											兼1
		発達心理学Ⅰ	1 前	2		○											兼1
		発達心理学Ⅱ	1 後	2		○											兼1
		社会心理学	1 前	2		○					1						
		臨床心理学Ⅰ	3 前	2		○							1				
		臨床心理学Ⅱ	3 後	2		○							1				
		認知心理学Ⅰ	2 前	2		○											兼1
		認知心理学Ⅱ	2 後	2		○											兼1
		心理測定法	2 前	4		○											兼1
		心理療法	3 後	2		○				1							
		スクールソーシャルワーク論	4 前	2		○											兼1
		ボランティア論	1 後	2		○					1						
		老年医学	2 後	2		○				1							
		教育心理学	2 後	2		○											兼1
		教育相談	3 前	2		○											兼1
		特別支援教育	3 後	2		○											兼1
小計 (29科目)	—	—	0	66	0				6	2	1	1	0		兼9		
健康とスポーツ	スポーツ指導論	2 前		2		○										共同	
	スポーツマネジメント論	2 後		2		○											
	スポーツ科学	3 前		2		○			1							兼1	
	コーチング学	3 前		2		○					1						
	スポーツパフォーマンス演習Ⅰ	1 前		1				○		1		1				共同	
	スポーツパフォーマンス演習Ⅱ	1 後		1				○		1		1				共同	
	ハイパフォーマンス演習Ⅰ	2 前		1				○		1		1				共同	
	ハイパフォーマンス演習Ⅱ	2 後		1				○		1		1				共同	
	フィットネス・エクササイズの理論と実際Ⅰ	3 前		2		○				1		1				共同	
	フィットネス・エクササイズの理論と実際Ⅱ	3 後		2		○				1		1				共同	
	小計 (10科目)	—	—	0	16	0				1	1	1	0	0		兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習・卒業研究	演習Ⅰ(A)	1前	2				○		4		1	2		
	演習Ⅰ(B)	1後	2				○		4		1	2		
	演習・コミュニティアワーⅡ(A)	2前	3				○		3	3	1	1		
	演習・コミュニティアワーⅡ(B)	2後	3				○		3	3	1	1		
	演習Ⅲ(A)	3前	2				○		4	1	1	2		
	演習Ⅲ(B)	3後	2				○		4	1	1	2		
	演習Ⅳ(A)	4前	2				○		6	2	1			
	演習Ⅳ(B)	4後	2				○		6	2	1			
小計(8科目)	—	—	18	0	0		—		8	3	2	2	0	
資格科目	心理学基礎実験	2後			2			○						兼2 共同
	心理検査法実習	3前			2			○						兼1 共同
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	3前			3		○				1			
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	3後			3		○		1					
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3後			2			○	1		1			共同
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4前			1			○	1		1			共同
	精神保健福祉援助実習	3後			6			○	1		1			共同
	スクールソーシャルワーク演習	4通年			2		○		1	1				共同
	スクールソーシャルワーク実習指導	4通年			2			○	1	1				共同
	スクールソーシャルワーク実習	4通年			1			○	1	1				共同
	教職論	4前			2	○								兼1 共同
	ジュニアスポーツ指導法	2後			2	○								兼2 共同
	トレーニング理論演習	3後			2		○				1			
障がい者スポーツ指導法	2前			2	○								兼3 オムニバス	
小計(14科目)	—	—	0	0	32		—		2	2	1	0	0	兼9
合計(126科目)		—	36	198	32		—		10	3	2	2	0	兼56
学位又は称号	学士(社会福祉学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
教養科目(人文科学系,社会科学系,情報語学系,人間理解の基礎):18単位以上 教養科目(キャリア形成):6単位 専門科目(「社会福祉の基礎」):46単位以上 専門科目(「社会福祉の応用」・「健康とスポーツ」):16単位以上 それに加えて、専門科目全体から20単位以上 演習・卒業研究:18単位 合計(124単位以上) (履修科目の登録の上限:46単位(年間))※ただし1年次は50単位						1学年の学期区分			2学期					
						1学期の授業期間			15週					
						1時限の授業時間			90分					

教 育 課 程 等 の 概 要

（看護学部看護学科学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	心理学概論	1 前	2			○									兼1	共同
	日本史	1 前		2		○									兼1	
	健康体育法	1 前		2		○									兼2	
	運動の科学	2 後		2		○									兼1	
	人と芸術	1 後		2		○									兼1	
	小計（5科目）	—	2	8	0	—			0	0	0	0	0	0	兼5	
	赤穂学	1 後		2		○									兼2	共同（一部）
	くらしと日本国憲法	1 前		2		○									兼1	
	くらしと経済（国際経済を含む）	1 後		2		○									兼1	オムニバス・共同（一部）
	社会学	1 前		2		○									兼1	
	リベラルアーツとSDGs	1 後		2		○				1	1	2	1		兼20	
	小計（5科目）	—	0	10	0	—			0	1	1	2	1		兼25	
	情報科学	1 前	2			○									兼1	共同
	データサイエンス概論	1 前		2		○				1		1			兼1	
	生物学	1 前	2			○									兼1	
	化学	1 前	2			○									兼1	
	小計（4科目）	—	4	4	0	—			0	1	0	1	0		兼3	
	国語表現法	1 前		2		○									兼1	共同
	基礎総合英語Ⅰ	1 前	2			○									兼1	
	基礎総合英語Ⅱ	1 後		2		○									兼1	
英会話（基礎）	1 前		2		○									兼1		
中国語	1 後		2		○									兼1		
手話（基礎）	1 後		2		○									兼1		
手話（応用）	2 前		2		○									兼1		
小計（7科目）	—	2	12	0	—			0	0	0	0	0		兼6		
人間関係学	1 前		2		○									兼1	共同	
生と死の教育	1 前	2			○									兼1		
哲学	1 後		2		○									兼1		
人間と宗教	2 後		2		○									兼1		
臨床への宗教学	2 前		2		○									兼1		
スピリチュアル支援論	2 後		2		○									兼1		
小計（6科目）	—	2	10	0	—			0	0	0	0	0		兼5		
教養ゼミナール	1 前		1			○		1	2	1	3	0				
小計（1科目）	—		1	0	0	—		1	2	1	3	0		0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
看護実践の基盤	人間の理解	形態機能学Ⅰ	1 前	2		○									兼1	オムニバス 共同
	人間の理解	形態機能学Ⅱ	1 後	2		○									兼1	
	人間の理解	症状の成り立ち	2 前	1		○				2						
	人間の理解	生化学	1 後	2		○										
	人間の理解	生涯発達論	2 前		1	○				1	1	2				
	人間の理解	ウイメンズヘルス	2 後		1	○					1	1				
	人間の理解	小計 (6科目)	—	7	2	0	—			1	4	2	0	0	兼2	
	健康の理解	病態治療学Ⅰ	2 前	2		○										オムニバス
	健康の理解	病態治療学Ⅱ	2 後	2		○										
	健康の理解	病態治療学Ⅲ	2 後	2		○					1					
	健康の理解	病理学	2 前	2		○										
	健康の理解	薬理学	2 前	2		○										
	健康の理解	感染・免疫学	1 後	1		○										
	健康の理解	栄養学 (含：食品学)	2 前	2		○										
	健康の理解	小計 (7科目)	—	13	0	0	—			0	1	0	0	0	兼8	
	環境の理解	疫学Ⅰ	2 前	1		○										兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	環境の理解	疫学Ⅱ	4 前		1	○										
	環境の理解	保健統計Ⅰ	2 前	1		○				1						
	環境の理解	保健統計Ⅱ	4 前		1	○	○									
	環境の理解	保健医療と法	2 前	1		○										
	環境の理解	公衆衛生学	2 後	2		○										
	環境の理解	保健医療福祉行政論Ⅰ	2 後		1	○				1	2					
	環境の理解	保健医療福祉行政論Ⅱ	4 前		2	○				1	2					
	環境の理解	学校保健学	1 後	2		○										
	環境の理解	産業保健学	4 前		1	○					1					
	環境の理解	小計 (10科目)	—	5	8	0	—			2	3	0	0	0	兼3	
	看護の理解	看護学概論	1 前	2		○				1	1					オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス 共同 共同 共同 兼1
	看護の理解	ヒューマンケアリング論	1 後	1		○				1	1					
	看護の理解	看護キャリア形成	1 後	1		○				1	2					
	看護の理解	基礎看護技術Ⅰ	1 前	2			○			1	2		1			
	看護の理解	基礎看護技術Ⅱ	1 後	2			○			1	2		1			
	看護の理解	看護過程論	2 後	2		○				1	2		1			
	看護の理解	フィジカルアセスメント	2 前	2			○			1	2		1			
看護の理解	感染看護	2 前	1		○											
看護の理解	看護倫理	2 前	1		○				1							
看護の理解	基礎看護学実習Ⅰ	1 前	1					○	1	2		6	5			
看護の理解	基礎看護学実習Ⅱ	2 後	2					○	1	2		6	5			
看護の理解	小計 (11科目)	—	17	0	0	—			3	4	0	6	5	兼1		
看護の発展	健康生活援助	母性看護学概論	2 後	2		○				1	1				オムニバス オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部)	
健康生活援助	母性看護学援助法	3 前	2			○				1	2	1				
健康生活援助	母性看護学実習	3 後	2				○			1	2	1				
健康生活援助	地域看護概論	1 後	1		○				1							
健康生活援助	公衆衛生看護学概論	2 前	1		○				1	1		1				
健康生活援助	地域アセスメント	3 後		1		○			1	2		1				
健康生活援助	継続的健康生活支援実習	4 前		1			○		1	2		1				
健康生活援助	公衆衛生看護活動論Ⅰ	3 後		2		○			1	2		1				
健康生活援助	公衆衛生看護活動論Ⅱ	3 後		1			○		1	2		1				
健康生活援助	公衆衛生看護学実習	4 前		3				○	1	2		1				
健康生活援助	公衆衛生看護管理論	4 前		2		○			1	2		1				
健康生活援助	助産学概論	3 後		1		○				1	1					
健康生活援助	小計 (12科目)	—	8	11	0	—			1	3	2	2	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
健康生活援助	地域母子保健論	3 後		1		○				1	2	1		共同 オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) 兼1 兼1 兼1 オムニバス
	妊娠期の助産診断技術とケア	4 前		1		○				1	2	1		
	分娩期の助産診断技術とケア	4 前		2		○				1	2	1		
	産褥期の助産診断技術とケア	4 前		2		○				1	2	1		
	新生児・乳幼児期の助産診断技術とケア	4 前		2		○				1	2	1		
	助産診断技術演習	4 前		2			○			1	2	1		
	助産管理	4 通		2		○				1	2	1		
	分娩産褥期実習	4 通		7				○		1	2	1		
	継続事例実習	4 通		1				○		1	2	1		
	養護活動論	3 前		2		○								
	ヘルスカウンセリング(含:健康相談活動)	3 前		2		○								
	リハビリテーション看護	4 前		1		○			1					
	クリティカルケア論(含:救急処置)	4 後		1			○				1			
	小計(13科目)	—		0	26	0	—			1	1	3	1	
看護の発展	小児看護学概論	2 後	2			○			1		1	1		オムニバス・共同(一部)
	小児看護学援助法	3 前	2				○		1		1	1		オムニバス・共同(一部)
	小児看護学実習	3 後	2					○			1	1		オムニバス・共同(一部)
	成人看護学概論Ⅰ	2 後	1			○			1					オムニバス・共同(一部)
	成人看護学概論Ⅱ	2 後	1			○			1					オムニバス・共同(一部)
	成人看護学援助法Ⅰ	3 前	2				○		3		1	1		オムニバス・共同(一部)
	成人看護学援助法Ⅱ	3 前	2				○		3		1	1		オムニバス・共同(一部)
	成人看護学実習Ⅰ	3 後	3					○	3		1	1		オムニバス・共同(一部)
	成人看護学実習Ⅱ	3 後	3					○	3		1	1		オムニバス・共同(一部)
	老年看護学概論	2 後	2			○				1	1			オムニバス・共同(一部)
	老年看護学援助法	3 前	2				○			1	1			オムニバス・共同(一部)
	老年看護学実習	3 後	3					○		1	1		2	オムニバス・共同(一部)
	精神看護学概論	2 後	2			○				1		1		オムニバス・共同(一部)
	精神看護学援助法	3 前	2				○			1		1		オムニバス・共同(一部)
精神看護学実習	3 後	2					○		1		1		オムニバス・共同(一部)	
小計(15科目)	—		31	0	0	—			4	2	3	3	2	
統合看護	在宅看護概論	2 後	2			○			1					オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) 兼1 オムニバス
	在宅看護援助法	3 前	2				○		1					
	在宅看護実習	3 後	2					○	1					
	ヘルスアセスメント	4 前	1			○			1		1			
	ヒューマンケアリング実習	4 前	2					○	4	5	5	4	5	
	地域包括看護実習	4 前	1					○	2	2	2	2	4	
	看護管理	4 前	1			○				1				
	家族看護	4 後		1		○			1		1			
	国際看護	4 前		1		○			1					
災害看護	4 前		1		○			2	2		1			
小計(10科目)	—		11	3	0	—			7	7	5	5	5	兼1
研究	看護研究法	3 前	1				○		1	1	1			オムニバス・共同(一部)
	卒業研究Ⅰ	4 前	1				○		5	6	5	6		
	卒業研究Ⅱ	4 後	1				○		5	6	5	6		
	小計(3科目)	—		3	0	0	—			5	6	5	6	0
自由科目	総合看護研究Ⅰ	4 通			1		○		1					兼3 兼3
	総合看護研究Ⅱ	4 通			1		○			2		1		
	総合看護研究Ⅲ	4 通			1		○			1	2	1		
	養護研究	2 前			1		○							
小計(4科目)	—		0	0	4	—			1	3	2	2	0	兼3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	教育原理	1 後			2	○									兼1
	教職論	1 後			2	○									兼1
	教育社会学	2 前			2	○									兼1
	教育心理学	2 後			2	○									兼1
	特別支援教育	2 後			2	○									兼1
	教育課程論	2 前			2	○									兼1
	道德教育論	3 前			2	○									兼1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3 前			2	○									兼1
	教育方法論	3 前			2	○									兼3 オムニバス・共同(一部)
	ICT活用の理論と方法	1 後			1	○									兼2 オムニバス・共同(一部)
	生徒指導論	2 後			2	○									兼1
	教育相談	2 前			2	○									兼1
	養護実習指導	4 前			1			○							兼3 オムニバス・共同(一部)
	養護実習	4 前			4			○							兼3 オムニバス・共同(一部)
	教職実践演習(養護)	4 後			2			○							兼3 オムニバス・共同(一部)
小計(15科目)		—	0	0	30	—			0	0	0	0	0	兼14	
合計(134科目)		—	106	94	34	—			7	7	7	7	5	兼59	
学位又は称号	学士(看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
一般教養：11単位必修、14単位選択 看護実践の基盤及び看護の発展：95単位必修、5単位選択 合計(125単位以上) (履修科目の登録の上限：46単位(年間))						1学年の学期区分			2学期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			90分						

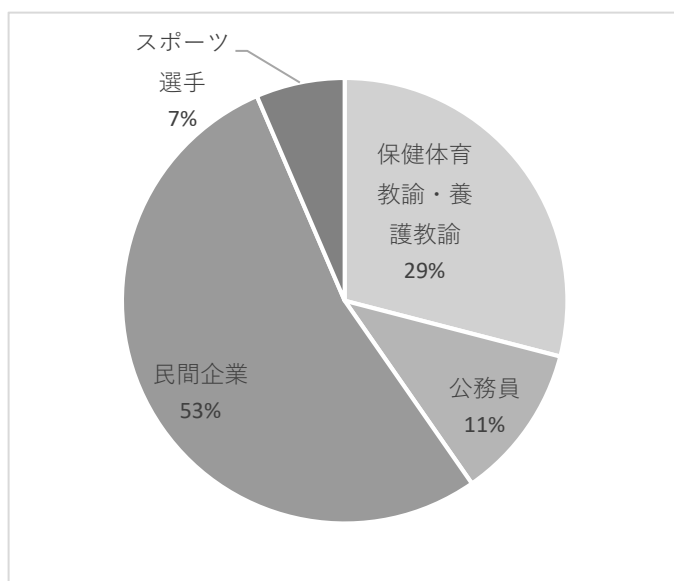
教育課程等の概要														
(教育学部学部保健教育学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ことばと情報	基礎総合英語	1 前	2			○								兼1
	英会話（基礎）	1 後		2		○								兼1
	英会話（応用）	2 後		2		○								兼1
	中国語	1 後		2		○								兼1
	手話（基礎）	1 後		2		○								兼1
	国語表現法	1 前		2		○								兼1
	データサイエンス概論	1 後	2			○			1	1	1			オムニバス
	情報科学	1 後	2			○								兼1
	情報処理	2 後		2		○								兼1
	小計（9科目）	—	—	6	12	0	—	—	—	0	1	1	1	0
地域と環境	赤穂学	1 後		2		○								兼2
	ボランティア論	1 後		2		○								兼1
	地域社会学	1 前		2		○								兼1
	社会学	1 前		2		○								兼1
	生物学	1 前		2		○								兼1
	化学	1 前		2		○								兼1
小計（6科目）	—	—	0	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼7
社会と文化	日本国憲法	1 前	2			○								兼1
	国際関係論	1 前		2		○								兼1
	哲学	1 後		2		○								兼1
	人間と宗教	1 後		2		○								兼1
	臨床への宗教学	1 前		2		○								兼1
	生と死の教育	1 前		2		○								兼1
	リベラルアーツとSDGs	1 後		2		○			2	1	3	1		兼18
小計（7科目）	—	—	2	12	0	—	—	2	1	3	1	0	兼23	
キャリア形成	キャリア形成Ⅰ	1 後	2			○								兼1
	キャリア形成Ⅱ	2 前		2		○								兼1
	小計（2科目）	—	—	2	2	0	—	—	0	0	0	0	0	兼1
専門基礎科目	心理学概論	1 前		2		○								兼1
	発達心理学Ⅰ	1 前		2		○								兼1
	発達心理学Ⅱ	1 後		2		○								兼1
	コミュニケーション心理学	1 後		2		○								兼1
	精神医学	2 前		4		○								兼1
	認知心理学Ⅰ	2 前		2		○								兼1
	認知心理学Ⅱ	2 後		2		○								兼1
	青年期の発達心理	2 後		2		○								兼1
	カウンセリング概論	2 後		2		○								兼1
	小計（9科目）	—	—	0	20	0	—	—	0	0	0	0	0	兼6
教職の基礎	教職論	1 前	2			○					1			
	教育原理	1 前	2			○					1			
	教育心理学	2 後	2			○								兼1
	教育制度論	3 前	2			○								兼1
	教育課程論	2 後	2			○					1			
	小計（5科目）	—	—	10	0	0	—	—	0	0	1	0	0	兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	健康体育法	1 前	2			○			1	1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	公衆衛生学 (含：予防医学)	1 前	2			○			1						
	運動生理学	1 前	2			○			1						
	機能形態学	1 後	2			○			1						
	疫学	1 後	2			○									
	栄養学(含：食品学)	2 前	2			○									
	運動学 (運動方法学を含む)	2 前		2		○				1					
	体育原理	2 前		2		○					1				
	体育社会学	2 前		2		○									
	体育心理学	2 後		2		○				1					
	運動の科学	2 後		2		○			1	2	1	1			
	レクリエーション論	2 後		2		○									
	医学概論	3 前		2		○									
	国際保健	4 前		2		○									
小計 (14科目)	—		12	16	0		—		1	2	1	1	0	兼5	
専門科目	生徒指導論	2 前	2			○				1					オムニバス オムニバス・共同 (一部) 兼1 兼1 兼1 オムニバス・共同 (一部) オムニバス・共同 (一部) オムニバス・共同 (一部) オムニバス・共同 (一部) 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	進路指導論	2 前		1		○				1					
	教育相談	2 後	2			○				1					
	教育方法論	2 後	2			○			1		1				
	ICT活用の理論と方法	1 後		1		○				1	1				
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2 後	2			○									
	道徳教育論	3 前		2		○									
	特別支援教育	3 前	2			○									
	養護実習指導	3 後		1			○		1		1	1			
	養護実習 I	2 後		1				○	1		1	1			
	養護実習 II	3 後		3				○	1		1	1			
	教職実践演習 (養護)	4 後		2			○		1		1	1			
	教育実習指導 (中・高)	3 後		1			○		1	2	2	1			
	教育実習 I (中・高)	3 後		2				○	1	2	2	1			
	教育実習 II (中・高)	3 後		2				○	1	2	2	1			
	教職実践演習 (中・高)	4 後		2			○		1	3	3	1			
小計 (16科目)	—		10	18	0		—		2	3	3	2	0	兼3	
保健体育	体育経営管理学	3 前		2		○									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	体育実技 (陸上)	1 後		1				○		1					
	体育実技 (球技 I)	1 前		1				○							
	体育実技 (球技 II)	1 後		1				○							
	体育実技 (水泳)	2 前		1				○	1					オムニバス・共同 (一部)	
	体育実技 (武道)	2 前		1				○				1			
	体育実技 (ダンス)	2 後		1				○							
	体育実技 (ウィンタースポーツ)	2 後		1				○	1	1	1	1			
	体育実技 (体操)	3 前		1				○							
	保健体育科指導法 I	2 前		2			○			1					
	保健体育科指導法 II	2 後		2			○			1	1				
	保健体育科指導法 III	3 前		2			○				1				
	保健体育科指導法 IV	3 後		2			○			1	1				
小計 (13科目)	—		0	18	0		—		1	2	2	1	0	兼7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学校保健	養護活動論	1 前	2		○			1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		健康相談	2 前	2		○			1						
		感染・免疫学	1 後	2		○									
		薬理学	1 後	2		○									
		看護学概論	1 前	2		○									
		看護学演習	2 前	1			○		1		1	1			
		看護実習指導	3 後	1				○		1		1	1		
		看護実習	3 後	2					○	1		1	1		
		学校保健	1 後	2			○			1					
		小児保健	2 後	2			○								
		精神保健	3 前	2			○					1			
		学校看護学	2 前	2			○						1		
		学校看護学演習	2 前	1				○				1	1		
		学校救急処置	2 前	2			○					1			
		学校救急処置演習	2 後	1				○				1	1		
	小計 (15科目)	—	10	16	0				1	0	2	1	0	兼4	
総合発達支援	レクリエーション実践論	2 後		2		○								兼2	
	スクールソーシャルワーク論	4 前		1		○								兼1	
	小計 (2科目)	—	0	3	0				0	0	0	0	0	兼3	
演習科目	大学入門演習Ⅰ	1 前	2				○			1	3	2			
	大学入門演習Ⅱ	1 後	2				○			1	3	2			
	教育基礎演習	2 前	2				○			1	4	2			
	教育専門演習	3 前	2				○		2	3	2	1			
	卒業研究Ⅰ	4 前	2				○		2	3		1			
	卒業研究Ⅱ	4 後	2				○		2	3		1			
	小計 (6科目)	—	12	0	0				2	3	3	2	0		
自由科目	教職研究 (養護)Ⅰ	3 後			2		○		1	1	2	1		オムニバス・共同 (一部)	
	教職研究 (養護)Ⅱ	4 前			2		○		1	1	2	1		オムニバス・共同 (一部)	
	教職研究 (保健体育)Ⅰ	3 後			2		○		1	2	2	1		オムニバス・共同 (一部)	
	教職研究 (保健体育)Ⅱ	4 前			2		○		1	2	2	1		オムニバス・共同 (一部)	
	スポーツ文化	2 前			2	○					1				
	スポーツ指導論	2 前			2	○				2					
	スポーツ科学	3 前			1	○				1				兼1	
	スポーツマネジメント	2 後			2	○					1			オムニバス	
	フィットネス・エクササイズの理論と実際Ⅰ	3 前			2	○			1	1					
	フィットネス・エクササイズの理論と実際Ⅱ	3 後			2	○			1	1					
	ジュニアスポーツ指導法	2 後			2	○				1		1		共同	
	小計 (11科目)	—	0	0	21				2	3	3	2	0	兼1	
合計 (115科目)			—	64	129	21			3	3	4	2	0	兼59	
学位又は称号		学士 (教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
教養科目：10単位必修、8単位以上選択 専門基礎科目・専門科目・演習科目：54単位必修、52単位以上選択 合計 (124単位以上) (履修科目の登録の上限：46単位 (年間))						1学年の学期区分			2期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			90分						

【資料1】 関西福祉大学教育学部保健教育学科 就職状況（分野）

進路先	人数	割合
保健体育教諭・養護教諭	18	29.0%
公務員	7	11.3%
民間企業	33	53.2%
スポーツ選手	4	6.5%
合計	62	100.0%



【資料 2】 中高保健体育教諭合格者数推移（2019 年度～2022 年度）

			2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
中学保健体育	兵庫県	受験者	319	279	285	262
		合格者	23	35	26	20
		倍率	13.9	8.0	11.0	13.1
	神戸市 (中高共通)	受験者	158	152	155	166
		合格者	10	10	9	9
		倍率	15.8	15.2	17.2	18.4
	岡山県	受験者	133	126	137	110
		合格者	13	15	9	6
		倍率	10.2	8.4	15.2	18.3
	大阪府	受験者	523	488	506	484
		合格者	50	36	49	50
		倍率	10.5	13.6	10.3	9.7
大阪市	受験者	143	142	223	216	
	合格者	11	31	33	12	
	倍率	13.0	4.6	6.8	18.0	
高校保健体育	兵庫県	受験者	268	316	320	298
		合格者	15	22	14	24
		倍率	17.9	14.4	22.9	12.4
	岡山県	受験者	93	90	100	87
		合格者	3	3	3	4
		倍率	31.0	30.0	33.3	21.8
	大阪府	受験者	519	347	359	323
		合格者	8	14	10	37
		倍率	64.9	24.8	35.9	8.7

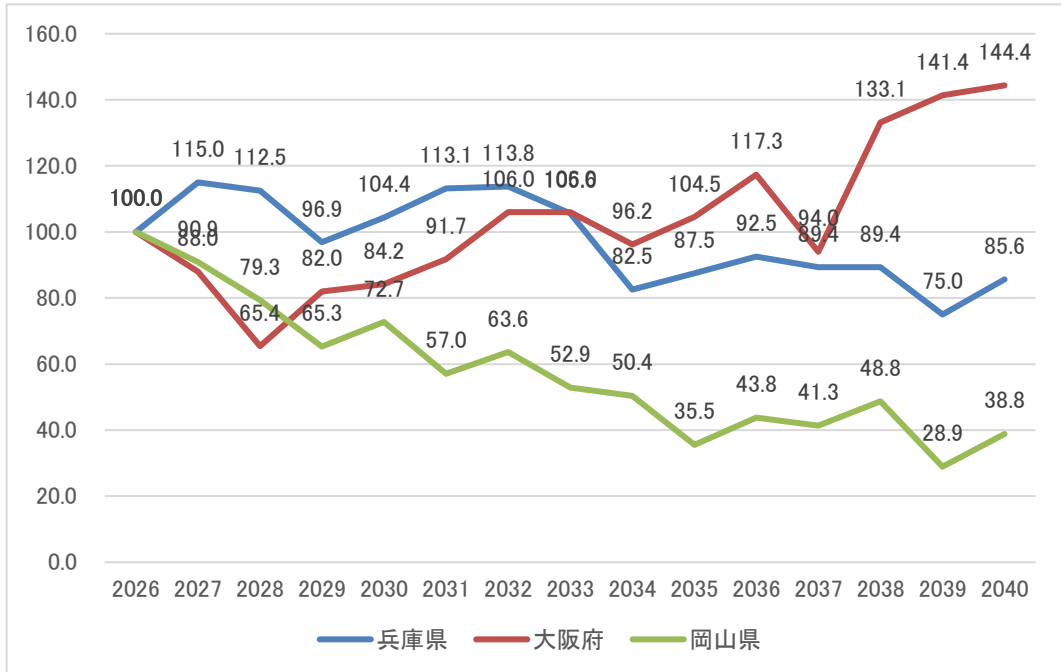
出典：教採ギルド（KYOSAI GUILD）

【資料3】養護教諭合格者数推移（2019年度～2022年度）

			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
養護教諭	兵庫県	受験者	232	329	320	298
		合格者	30	40	35	40
		倍率	7.7	8.2	9.1	7.5
	神戸市	受験者	132	130	92	88
		合格者	17	10	5	5
		倍率	7.8	13.0	18.4	17.6
	岡山県 岡山市	受験者	132	129	167	174
		合格者	17	20	16	15
		倍率	7.8	6.5	10.4	11.6
	大阪府	受験者	387	379	383	364
		合格者	25	25	25	23
		倍率	15.5	15.2	15.3	15.8
	大阪市	受験者	250	203	228	211
		合格者	55	39	31	25
		倍率	4.5	5.2	7.4	8.4

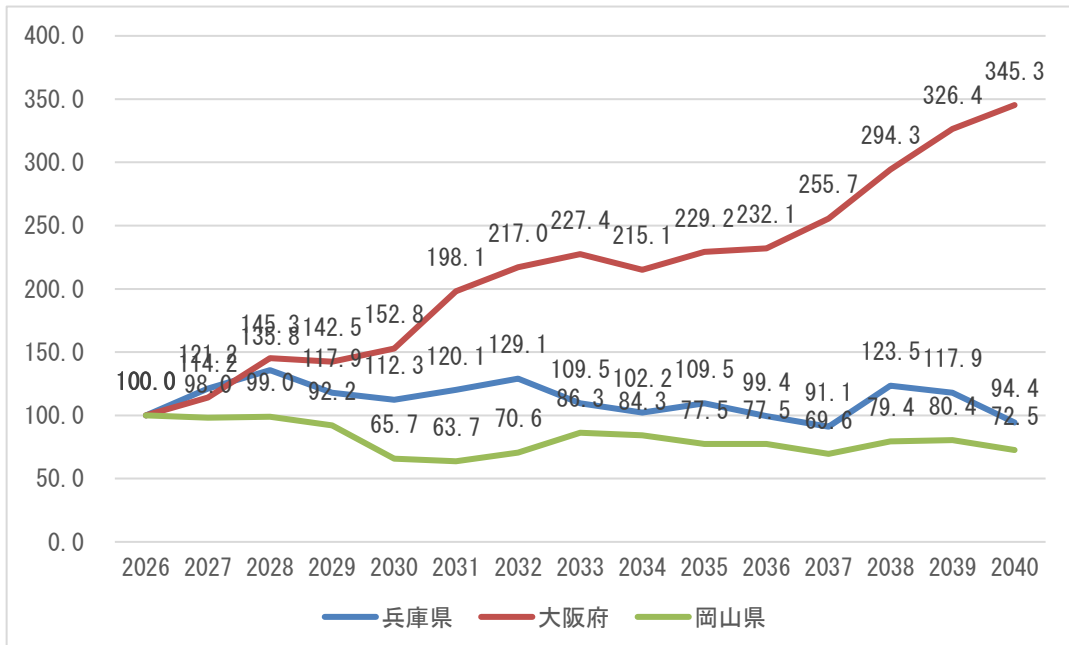
出典：教採ギルド（KYOSAI GUILD）

【資料4】 公立高等学校教員退職者推移（2026年～2040年）



【文部科学省「学校教員統計調査」より作成】

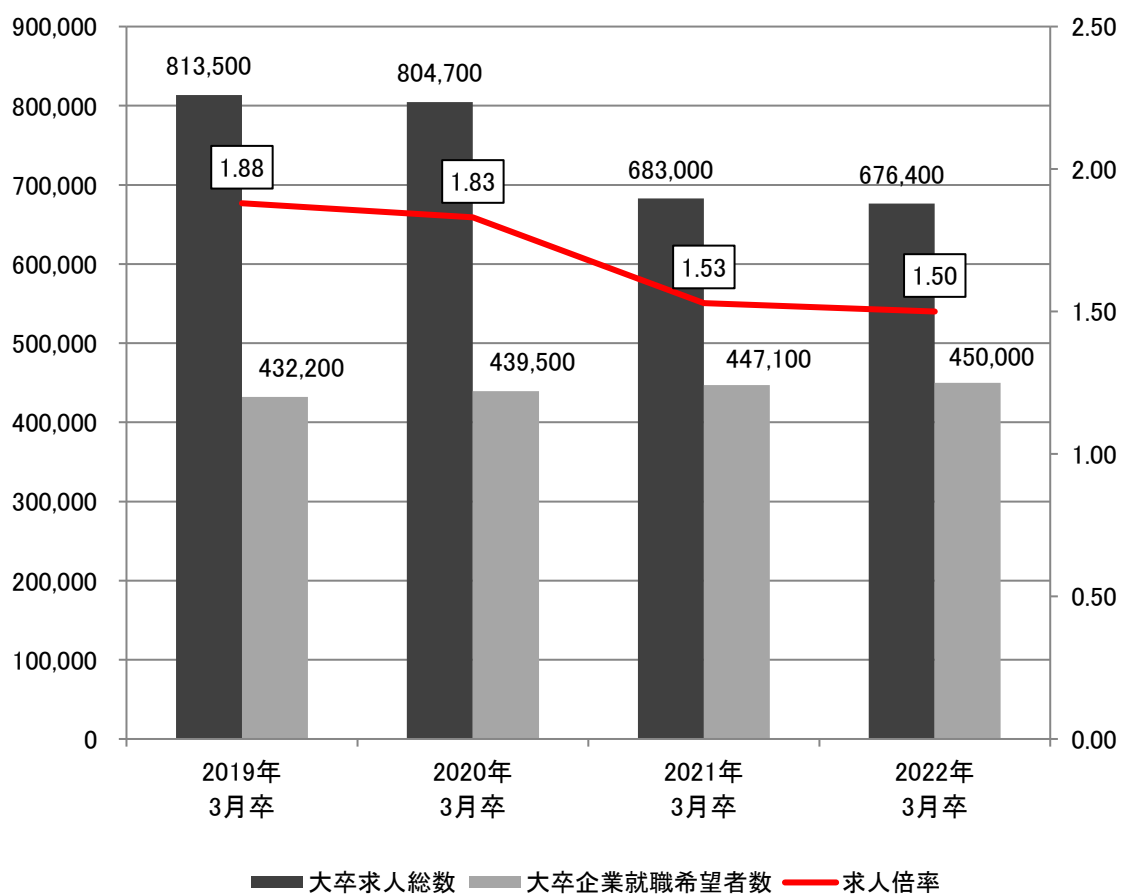
【資料5】 公立中学校教員退職者推移（2026年～2040年）



【文部科学省「学校教員統計調査」より作成】

【資料 6】 大卒求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移

	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒
大卒求人総数	813,500	804,700	683,000	676,400
大卒企業就職希望者数	432,200	439,500	447,100	450,000
求人倍率	1.88	1.83	1.53	1.50



リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」より

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	P. 2
(1) 学生の確保の見通し	P. 2
ア 定員充足の見込み	P. 2
① 直近4カ年の志願・入学動向	P. 2
② 学生募集重点エリア（注）での本学への関心の高まり	P. 2
③ 競合校の状況	P. 3
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	P. 3
ウ 学生納付金の設定の考え方	P. 6
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	P. 8
2. 人材需要の動向等社会の要請	P. 11
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	P. 11
(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	P. 12
ア 社会的・地域的な人材需要の動向	P. 12
イ 本学の就職状況と求人状況	P. 14

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

今回の収容定員の変更は、2023年度より、関西福祉大学（以下、「本学」という。）の入学定員345名を365名に20名増員し、3年次編入学定員5名を0名に募集停止し、収容定員（完成年度後）を1,390名から1,460名に増員するものである。

以下の理由から変更後においても、入学定員の充足は十分可能であると考えている。

① 直近4カ年の志願・入学動向

社会福祉学部社会福祉学科の直近4カ年の志願状況は志願倍率が2.4倍を超えており（表1）、今回の収容定員増により入学定員は110人となるが、過去の志願者数はこれを上回っている。また、合格者の入学歩留（合格者数/入学者数）は、2019年度48.5%、2020年度41.3%、2021年度57.9%、2022年度67.2%と上昇しており、入学者数も安定して確保していることから社会福祉学科は志望度の極めて高い受験者を確保できていると言える。したがって、変更後の入学定員は充足できると考えている。

看護学部看護学科の志願状況は志願倍率が7.0倍を超えており（表1）、今回の収容定員増により入学定員は90人となるが、過去の志願者数はこれを大きく上回っている。なお、看護学科においては、入学者数がすでに90人を上回る状況が続いており、変更後の入学定員は継続して充足できると考えている。

教育学部保健教育学科の直近4カ年の志願状況は志願倍率が2.5倍を超えており（表1）、2020年度以降は概ね3倍程度を維持している。今回の収容定員増により入学定員は85人となるが、過去の志願者数はこれを上回っている。また、保健教育学科についても、2020年度以降は入学者数が新定員の85人を超えている状況が続いている。したがって、変更後の入学定員は充足できると考えている。

18歳人口の減少等少子化の傾向がある中でも志願者及び入学者を確保しているのは、地域社会のニーズに応え、専門職者等人材を輩出してきた結果であり、今後も引き続いて本学へ期待が寄せられるものと考えている。よって、今回計画している収容定員の増員後についても、学生は十分に確保できると考えている。

② 学生募集重点エリア（注）での本学への関心の高まり

本学の学生募集重点エリアからの資料請求数は毎年大きく増加しており（表2）、2018年を基準年とすると、2021年は139.0%まで上昇している。資料請求数の増加は、効果的で積極的な広報活動（「（2）学生確保に向けた具体的な取組状況（P.8）」で後述）により、学生募集重点エリアでの本学への関心が高まっていることを裏付ける数値である。

（注）学生募集重点エリア：本学では、兵庫県、大阪府、岡山県を学生募集重点エリアとしている。2022年度入学者351人のうち兵庫県から205人（58.4%）、大阪府から17人（4.8%）、岡山県から44人（12.5%）の合計266人（75.7%）が入学している。【資料3】

③ 競合校の状況

兵庫県（本学所在県）内競合校との入学者数及び入学定員超過率を比較してみる。分析時点では2022年度入学者数情報が揃わないため、2021年度入試における兵庫県内の入学者数の状況を見る。

兵庫県内の私立大学の社会福祉学系学部は8大学あり、入学定員を満たす大学は本学を含み、半数の4大学である。入学定員を確保できる大学とできない大学が二極化している中で、本学は入学者を確保している。これは、兵庫県内で社会福祉系学部を志望する受験生から本学が高い評価を得ていることを裏付ける数値である。本学社会福祉学科は2022年度入学者数も同水準の119人を確保しており、兵庫県内では継続して学生確保が可能であることが予測できる（表3）。

兵庫県内の私立大学の看護系学部は13大学あり、関西国際大学と姫路獨協大学を除く11大学が入学定員を満たしている。本学は、競合校が多い中、入学定員を確保している。また、前述のとおり志願倍率は7.0倍を超えている（表1）ことから、収容定員増の後も継続して学生確保は可能であると考えている（表4）。

兵庫県内の私立大学で中高教員免許「保健体育」を取得できる学部は8大学あるが、入学定員を満たす大学は、本学と芦屋大学の2大学のみである。入学者数は4番目に多く、社会福祉学科同様、兵庫県内において本学が受験生から高い評価を得ていることを裏付けている。前述したが、収容定員増後の85名を上回る入学者数を確保し、尚且つ志願倍率が2.5倍を超えていることから、今後も入学定員の充足は可能であると考えている（表5）。

以上①～③の事実と予測から、3学科の新たな定員数は妥当であり、今回の収容定員変更を計画する。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

（表1）各学科の直近4カ年の志願・入学者推移

学科	項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
社会福祉	入学定員	100	100	100	100
	志願者数	280	382	367	243
	受験者数	272	367	357	236
	合格者数	202	259	209	177
	入学者数	98	107	121	119
	志願倍率	2.80	3.82	3.67	2.43
	入学定員超過率	0.98	1.07	1.21	1.19
学科	項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
看護	入学定員	85	85	85	85
	志願者数	715	837	606	598
	受験者数	702	826	588	580
	合格者数	312	254	174	190

	入学者数	92	106	93	91
	志願倍率	8.41	9.85	7.13	7.04
	入学定員 超過率	1.08	1.24	1.09	1.07
学科	項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
保健教育	入学定員	80	80	80	80
	志願者数	205	295	253	228
	受験者数	204	289	244	221
	合格者数	159	208	170	164
	入学者数	81	95	99	88
	志願倍率	2.56	3.69	3.16	2.85
	入学定員 超過率	1.01	1.18	1.23	1.10

【資料1：4カ年志願者受験者合格者入学者より】

社会福祉学部社会福祉学科の直近4カ年の志願状況は志願倍率が2.4倍を超えており、今回の収容定員増により入学定員は110人となるが、過去の志願者数はこれを上回っている。また、合格者の入学歩留（合格者数／入学者数）は、2019年度48.5%、2020年度41.3%、2021年度57.9%、2022年度67.2%と上昇しており、入学者数も安定して確保していることから社会福祉学科は志望度の極めて高い受験者を確保できていると言える。したがって、変更後の入学定員は充足できると考えている。

看護学部看護学科の志願状況は志願倍率が7.0倍を超えており、今回の収容定員増により入学定員は90人となるが、過去の志願者数はこれを大きく上回っている。なお、看護学科においては、入学者数がすでに90人を上回る状況が続いており、変更後の入学定員は継続して充足できると考えている。

教育学部保健教育学科の直近4カ年の志願状況は志願倍率が2.5倍を超えており、2020年度以降は概ね3倍程度を維持している。今回の収容定員増により入学定員は85人となるが、過去の志願者数はこれを上回っている。また、保健教育学科についても、2020年度以降は入学者数が新定員の85人を超えている状況が続いている。したがって、変更後の入学定員は充足できると考えている。

（表2）学生募集重点エリアからの本学への直近4カ年の資料請求数推移

府県	2018年	2019年	2020年	2021年
兵庫県	6,788	8,779	9,379	9,776
大阪府	2,089	2,613	2,801	3,087
岡山県	1,129	1,344	1,044	1,041
3府県計	10,006	12,736	13,224	13,904

【資料2：3府県資料請求数推移より】

兵庫県、大阪府、岡山県は本学の入学者のおよそ7割（2022年度入学者351人のうち兵庫県から205人（58.4%）、大阪府から17人（4.8%）、岡山県から44人（12.5%）の合計266人（75.7%））が入学しているエリアであり、本学の学生募集重点エリアとしている。そのため、この重点エリアからの資料請求数は非常に大事な指標であるが、2018年度以降、毎年大きく増加しており、2018年を基準年とすると、2021年は139.0%まで上昇している。資料請求数の増加は、効果的で積極的な広報活動（「（2）学生確保に向けた具体的な取組状況（P.8）」で後述）により、学生募集重点エリアでの本学への関心が高まっていることを裏付ける数値である。

（表3）2021年度入試における兵庫県内私立社会福祉系学部入学者数の状況

大学名	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員超過率
関西福祉	社会福祉	社会福祉	100	121	1.21
神戸学院	総合リハビリテーション	社会リハビリテーション	90	96	1.07
関西学院	人間福祉	社会福祉	110	115	1.05
兵庫	生涯福祉	社会福祉	35	36	1.03
武庫川女子	文	心理・社会福祉	160	143	0.89
関西国際	教育	教育福祉	150	113	0.75
神戸女子	健康福祉	社会福祉	80	58	0.73
神戸医療福祉	人間社会	社会福祉	120	43	0.36

【資料4：2021年度入試における兵庫県内私立社会福祉系学部入学者数の状況より】

兵庫県内の私立大学の社会福祉学系学部は8大学あり、入学定員を満たす大学は本学を含み、半数の4大学である。入学定員を確保できる大学とできない大学が二極化している中で、本学は入学者を確保している。これは、兵庫県内で社会福祉系学部を志望する受験生から本学が高い評価を得ていることを裏付ける数値である。本学社会福祉学科は2022年度入学者数も同水準の119人を確保しており、兵庫県内では継続して学生確保が可能であることが予測できる。

（表4）2021年度入試における兵庫県内私立看護系学部入学者数の状況

大学名	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員超過率
関西看護医療	看護	看護	90	105	1.17
兵庫医科	看護	看護	100	114	1.14
園田学園女子	人間健康	人間看護	80	90	1.13
大手前	国際看護	看護	80	89	1.11
兵庫	看護	看護	90	99	1.10
関西福祉	看護	看護	85	93	1.09
武庫川女子大学	看護	看護	80	83	1.04

神戸女子	看護	看護	90	93	1.03
甲南女子	看護リハビリテーション	看護	100	103	1.03
神戸常盤	保健科	看護	85	87	1.02
姫路	看護	看護	100	101	1.01
関西国際	保健医療	看護	100	98	0.98
姫路獨協	看護	看護	80	62	0.78

【資料5：2021年度入試における兵庫県内私立看護系学部入学者数の状況より】

兵庫県内の私立大学の看護系学部は13大学あり、関西国際大学と姫路獨協大学を除く11大学が入学定員を満たしている。本学は、競合校が多い中、入学定員を確保している。また、前述のとおり志願倍率は7.0倍を超えている（表1）ことから、収容定員増の後も継続して学生確保は可能であると考えている。

（表5）2021年度入試における兵庫県内私立中高「保健体育」免許を取得できる学部入学者数の状況

大学名	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員超過率
関西福祉	教育	保健教育	80	99	1.24
芦屋	臨床教育	教育	105	117	1.11
武庫川女子	健康・スポーツ科	健康・スポーツ科	180	160	0.89
兵庫	健康科	健康システム	40	35	0.88
園田学園女子	人間健康	総合健康	95	80	0.84
神戸女子	健康福祉	健康スポーツ栄養	80	53	0.66
神戸親和女子	発達教育	ジュニアスポーツ教育	80	50	0.63
神戸医療福祉	人間社会	健康スポーツコミュニケーション	180	101	0.56

【資料6：2021年度入試における兵庫県内私立中高「保健体育」免許を取得できる学部入学者数の状況より】

兵庫県内の私立大学で中高教員免許「保健体育」を取得できる学部は8大学あるが、入学定員を満たす大学は、本学と芦屋大学の2大学のみである。入学者数は4番目に多く、社会福祉学部同様、兵庫県内において本学が受験生から高い評価を得ていることを裏付けている。前述したが、収容定員増後の85名を上回る入学者数を確保し、尚且つ志願倍率が2.5倍を超えていることから、今後も入学定員の充足は可能であると考えている。

ウ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、中長期的に安定した志願者及び入学者を確保するために、兵庫県内の私立大学も参考にしながら設定している。初年度納付金は他大学の平均額を上回らず、相対的に安価であるため適正であると考えている（表6）。

(表6) 兵庫県 同系統学部学費一覧

社会福祉	大学名	学部	学科	初年度納付金(円)
	神戸学院	総合リハビリテーション	社会リハビリテーション	1,516,300
	関西国際	教育	教育福祉	1,476,000
	兵庫	生涯福祉	社会福祉	1,457,300
	武庫川女子	文	心理・社会福祉	1,439,700
	神戸女子	健康福祉	社会福祉	1,375,000
	関西学院	人間福祉	社会福祉	1,352,000
	関西福祉	社会福祉	社会福祉	1,318,100
	神戸医療福祉	人間社会	社会福祉	1,080,000
	8 大学平均額			
看護	大学名	学部	学科	初年度納付金(円)
	姫路獨協	看護	看護	1,953,300
	園田学園女子	人間健康	人間看護	1,950,000
	神戸常盤	保健科	看護	1,943,000
	兵庫医科	看護	看護	1,925,000
	神戸女子	看護	看護	1,905,000
	関西看護医療	看護	看護	1,900,000
	関西国際	保健医療	看護	1,897,000
	甲南女子	看護リハビリテーション	看護	1,895,700
	姫路	看護	看護	1,895,000
	大手前	国際看護	看護	1,890,000
	武庫川女子大学	看護	看護	1,889,700
	関西福祉	看護	看護	1,858,670
	兵庫	看護	看護	1,819,370
13 大学平均額				1,901,672
保健教育	大学名	学部	学科	初年度納付金(円)
	兵庫	健康科	健康システム	1,817,300
	芦屋	臨床教育	教育	1,500,000
	神戸親和女子	発達教育	ジュニアスポーツ教育	1,499,300
	武庫川女子	健康・スポーツ科	健康・スポーツ科	1,459,700
	関西福祉	教育	保健教育	1,438,940
	神戸女子	健康福祉	健康スポーツ栄養	1,435,000
	園田学園女子	人間健康	総合健康	1,430,000
神戸医療福祉	人間社会	健康スポーツコミュニケーション	1,080,000	
8 大学平均額				1,457,530

(各大学ホームページより)

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では、広報委員会が中心となり全教職員で学生募集活動にあたっている。また、事務局に学生募集活動を主な業務とする入試広報課を置き、高校生や保護者、高等学校教員への情報発信等を専門的に行っている。なお、継続的な学生確保を目的として、オープンキャンパスの内容を充実すること、高校生へ直接 PR する機会を増やすこと、大学名の掲出を強化し認知度の向上を図ること、学内外での学生・教員の活動を積極的に広報することを重点として、下記 8 項目について特に力を入れて取り組んでいるが、今後さらに強化していく。

ア 受験情報媒体を活用した情報発信

学生募集重点エリアからの受験者を獲得するために、受験情報誌や受験情報サイト等を通じて、本学の学部学科の概要や教育の特色、就職状況やイベント告知、学生生活、入試情報等の様々な情報を掲載し、受験生に情報発信を行っている。効果的な媒体の選定及びこまめな更新、魅力ある情報の発信に努めており、2018 年に 10,006 件だった学生募集重点エリアからの資料請求数は、2021 年に 13,904 件と 3,898 件増加させることができている。【資料 2】

イ オープンキャンパスの魅力アップ

本学では特にオープンキャンパスの魅力アップに取り組んできた。それにより本学のオープンキャンパスへは毎年多くの高校生に来場してもらうことができている（表 7）。

(表 7) オープンキャンパス来場者数推移（高校生のみ集計）

2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
1,223	1,620	1,402	1,216

【資料 7：オープンキャンパス来場者数推移（高校生のみ：2018 年～2021 年）より】

2020 年、2021 年はコロナ禍での開催であり、中止や来場者数制限などにより人数を減らしているが、オンラインや WEB・SNS の活用により 2018 年程度の水準を維持することができている。2023 年度入学者への訴求となる 2022 年オープンキャンパスは年間 7 回（3 月、5 月、6 月、7 月、8 月 2 回、9 月）開催し、学問・職業理解を促す体験授業や大学概要説明のほか、教育内容の特色等を受験生、保護者に明確に説明し、特に在学生の生の声を通して共感を生むプログラムを実施している。また、受験生に対しては継続的な入試対策講座を実施する等、本学受験志望者が離脱しないように企図するプログラムも実施している。

ウ 高等学校内ガイダンスや進学相談会等、直接高校生へ PR できる機会を増加

各学部の専門分野における活躍の場の幅広さや、やりがい、資格・免許、本学の魅力等について高校生に直接 PR する機会を持つため、高等学校内で開催される模擬授業や進学ガイダンス、ホテルの貸会議室等で開催される進学相談会に力を入れてきた。

その結果として、本学の入学試験の出願時に志願者を対象にしたアンケート調査で「本学を知ったのは何から（誰から）ですか」の問いで、進学相談会と答えた者が、257 人

(8.7%：高校内で実施される進学相談会と高校外の会場で実施される進学相談会の合算)となっており、学生募集活動の成果となっている。【資料8】

進学ガイダンスや進学相談会は志願者の多い兵庫県、岡山県、大阪府を中心に参加している。2020年と2021年はコロナ禍により中止となったものが多かったが非常に多くの機会を設けている。2022年はコロナ禍前の2019年の431回を超えるペースで参加しており、2022年7月末までの参加予定がガイダンス業者が開催する進学相談会は60箇所、高等学校内ガイダンスは178回を予定している(表8)。これは年間で500回程度となる見込みで、受験生とその保護者に直接PRできる機会を増加させている。

(表8) 高等学校内ガイダンス・進学相談会参加数推移

種別	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年※
進学相談会	131	139	112	105	60
高校内ガイダンス	241	292	272	210	178
総計	372	431	384	315	238

※2022年は7月末までの予定数(5月28日現在)

【資料9：高等学校内ガイダンス・進学相談会参加数推移より】

なお、許諾を得た参加者にはその後、ダイレクトメール等で学部学科の魅力やオープンキャンパス、入試制度等の継続的な情報提供に努めている。

エ 学生募集重点エリアを中心とした高等学校教員への情報発信

継続的な学生確保には、受験生への訴求だけでなく、高等学校教員への情報発信と信頼関係構築が重要なことは、高校進路指導や担任の先生等に相談している受験生が全体の26.0%(628人)いることからわかる。【資料10】 受験生から進学先に関わる相談があった時に本学を勧めてもらえるように、入試情報、国家試験合格率や就職率、教育内容、何よりもその高校出身の学生がどのように本学で学生生活を過ごしているか等の情報を高等学校教員へ発信している。訪問する対象は入学者数の多い、前述の学生募集重点エリア及び四国4県の高等学校の進路指導部、学年主任としている。それ以外の地域については業者主催の進学ガイダンス等に参加した際に周辺の高等学校を訪問する。

オ 高大連携事業の強化

学生募集重点エリアに所在する県立高等学校7校(太子高等学校、上郡高等学校、赤穂高等学校、相生高等学校、相生産業高等学校、山崎高等学校、備前緑陽高等学校)と高大連携協定を結んでおり、本学教員による模擬授業や大学見学会等を実施し、大学での学びの理解と本学の教員・学生の様子を高校生が知る機会を提供している。結果、高大連携協定を結ぶ高等学校からの入学者数は増加傾向にあり、今後も積極的な活動に努める(表9)。

(表 9) 高大連携協定校からの入学者数推移 (2019 年度～2022 年度入学者数)

高校名	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
上郡	2	13	6	8
相生産業	3	4	5	3
相生	3	4	5	3
赤穂	11	13	18	14
太子	13	9	12	9
山崎	1	4	5	6
備前緑陽	3	2	2	6
合計	36	49	53	49

【資料 11：高大連携協定校からの入学者数推移より】

カ インターネット、SNSを活用した広報の強化

本学ではインターネットにおける広報活動に力を入れている。大学ホームページは公式サイトに加え、受験生応援サイトを運営しており、閲覧者の属性に合わせた情報の訴求を行っている。また、YouTube、Facebook、twitter、LINE、Instagram 等の動画投稿サイトや SNS を幅広く活用しており、タイムリー且つ細かく本学の学生・教員の活動やイベント告知、入試情報等を発信しており、今後も継続的に行っていく。LINE については、情報発信だけでなく高校生等からの質問や相談を受ける等、相互コミュニケーションツールとして特に活用している。

キ 多彩な入試制度

本学では多彩な入試制度を実施しており、多様な学習歴をもつ高校生に広く門戸を開いている。総合型選抜では学びマッチング特別選抜、社会福祉特別選抜、保育者養成特別選抜、特色選抜、スポーツ・吹奏楽特待生選抜、公募制選抜の 6 入試、学校推薦型選抜では指定校制、高大連携校制、内部校制、一般制の 4 入試、一般選抜では一般選抜前期、一般選抜前期共通テストプラス、一般選抜後期、大学入学共通テスト利用選抜前期、大学入学共通テスト利用選抜後期の 5 入試を実施している。

試験科目は、特色選抜で 3 科目（英語・数学・生物）、公募制選抜で 4 科目（英語・国語・数学・生物）、一般選抜については 5 科目（英語・国語・数学・生物・日本史）を用意し、文系・理系どちらの受験生も受験しやすいように設定している。また、小論文・面接に重点をおいた入試、事前提出の課題レポートと面接に重点をおいた入試等様々な特色ある入試を実施することで、本学の学士課程教育で培う能力・素養に応じて、多様な知識・技能、目的意識・意欲を備えた受験生を、アドミッションポリシーに基き、幅広く受け入れている。

ク 関西金光学園系列校との連携強化

本学を設置する関西金光学園系列校3校からの推薦枠を設定した学校推薦型選抜を実施している。そのため、各高校での大学説明会の実施やオープンキャンパスへの案内、教員による出張講座等を積極的に行い、本学の魅力を訴求し、系列校からの内部進学による入学者の確保に努めている。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

ア 社会福祉学部社会福祉学科

社会福祉学部 社会福祉学科は、人間の尊厳を大切にする『福祉の心』を基盤とする豊かな教養と、社会福祉の価値・知識・技術を身につけ、広い視野から福祉社会の発展に大きく貢献できる人材を育成することを目的としている。また、ディプロマ・ポリシーにおいて、Ⅰ：どのような時代が来ても、ほんとうに大切なことを見極められる教養と人間性、Ⅱ：人や地域が抱えている課題を見極め、その課題を改善・解決できる高度な専門性、Ⅲ：身につけた教養と専門性を、地域社会の貢献に結びつける社会性と公共性の3項目の能力・素養を卒業認定方針として示している。

イ 看護学部看護学科

看護学部看護学科は、生命の尊厳と人権を尊重し、且つ擁護する倫理観を培うとともに、その人がその人らしく生きられるような「ヒューマンケア」を提供し、保健・医療・福祉・学校における役割について総合的に捉え、社会の多様なニーズに対応し、地域社会および国際社会に貢献しうる質の高い実践能力のある看護専門職者を育成することを目的としている。また、ディプロマ・ポリシーにおいて、Ⅰ：豊かな人間性を育み、ヒューマンケアリングが実践できる能力、Ⅱ：看護の独自性を発揮し、保健・医療・福祉チームで連携・協働できる能力、Ⅲ：国際社会及び地域社会の健康に対する多様なニーズに貢献できる能力、Ⅳ：ヒューマンケアに対する科学的探究心や創造性を持ち、生涯学習へ主体的に取り組む姿勢の4項目の能力・素養を卒業認定方針として示している。

ウ 教育学部保健教育学科

教育学部保健教育学科は、保健体育（保健学習・保健指導）の知識を基盤としながら、人々の健康保持・増進を図ることができる能力を育成し、青少年の心と身体の健やかな発達に関わる知識に加え、救急看護や精神保健などの看護学的知識を学ぶことにより、確かな知識を持ちながら課題解決のために行動できる実践力を持った学校教員を育成することを目的としている。また、ディプロマポリシーにおいて、Ⅰ：教科に関する専門知識と同時に幅広い教養を持ち、運動技術に関わる指導のみならず、青少年が明るく豊かな生活を営む心や態度を育てることのできる保健体育教諭、Ⅱ：青少年の心と身体の健やかな発達を担い、学内外の機関と連携しながらメンタルヘルス問題や健康管理・維持教育に貢献できる養護教諭、Ⅲ：保健体育の知識や技術を活かし、教育・スポーツ関係企業、公務員（警察、消防等）等、地域社会で活躍できる人材となる能力・素養をもつことを卒業認定方針として示している。

(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア 社会的・地域的な人材需要の動向

① 社会福祉学部社会福祉学科

社会福祉学科では学生の進路希望に沿って2年次から5つのコースに分かれるが、いずれのコースも社会福祉士の資格取得を軸としているため、福祉人材の社会的、地域的な人材需要の動向について説明する。

社会福祉法人全国社会福祉協議会中央福祉人材センターにおいて各年度の求人数・求職者数が報告されており、直近4カ年の統計では、全国では4倍を超える求人倍率、本学所在の兵庫県では概ね5倍を超える求人倍率となっている(表10)。また、「地域を支える福祉人材 確保・育成・定着のための取組方策2021」(社会福祉法人全国社会福祉協議会製作委員会)において、少子化・高齢化の進行、労働力人口も減少傾向にあるなかで、医療・福祉分野の就業者数は増加することが予測されており、福祉分野における人材確保はますます厳しい状況になることが見込まれているとの報告がなされている。このことから、福祉人材は全国的にも地域的にも需要が高まることが予測でき、福祉人材の供給は急務であると考えている。

(表10) 福祉人材求人数・求職者数状況

地域	項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
全国	求人数	75,550	77,297	72,924	64,845
	求職者数	16,863	17,292	16,899	14,318
	求人倍率	4.48	4.47	4.32	4.53
兵庫県	求人数	906	1,131	1,152	1,006
	求職者数	159	181	168	203
	求人倍率	5.70	6.25	6.86	4.96

出典：「福祉人材センター・バンク職業紹介実績報告」全国社会福祉協議会中央福祉人材センターより

② 看護学部看護学科

次に看護師の人材需要の動向についてであるが、「第七次看護職員需給見通しに関する検討会」(厚生労働省)において現在の看護職員の供給不足に加え、2025年度の看護職員の需要数は実人員でおよそ191万8千人から199万7千人と推計されている。その一方で、2025年度の供給数は179万8千人と推計されており、中長期的な需給推計について供給不足であると推計している。また、公益社団法人日本看護協会において各年度の看護職求人数・求職数が報告されており、直近4カ年の報告書から求人倍率をみると、いずれも高い数値を示している(表11)。本学所在の兵庫県の看護職求人数・求職数については、全国に比べさらに高い数値を示しており(表12)、中長期的にも供給不足である推計からも、地域的にみても今後も需要は続くと考えられる。

(表 11) 全国看護職求人・求職・求人倍率推移 (2017 年～2020 年)

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
求人	159,891	157,087	158,602	156,263
求職	67,614	67,620	67,710	76,244
求人倍率	2.36	2.32	2.34	2.05

出典：「ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書」(2017～2020)

(表 12) 兵庫県看護職求人・求職・求人倍率推移 (2017 年～2020 年)

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
求人	5,288	5,705	5,278	5,435
求職	1,212	1,493	1,591	1,784
求人倍率	4.36	3.82	3.32	3.05

出典：「ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書」(2017～2020)

③教育学部保健教育学科

上記(1)で示す保健教育学科の進路先は保健体育教諭・養護教諭または民間企業、公務員(警察・消防等)を想定している。実際に第1期生となる2021年度卒業生の進路先は、保健体育教諭・養護教諭が18名(29.0%)、民間企業33名(53.2%)、公務員7名(11.3%)となっている【資料17】。特に、保健体育教諭・養護教諭、民間企業の就職者は多く卒業生全体の8割を占めている。そのため、保健体育教諭・養護教諭及び民間企業の人材需要の動向を見てみる。

近隣府県(岡山県・兵庫県・大阪府)の2019年度から2022年度までの4カ年の教員採用試験の結果を概観してみると、中学校保健体育科については、兵庫県・大阪府では安定的な採用があり、岡山県では2020年度までは2桁の採用があり直近2年は1桁であるが採用はある。高等学校保健体育科については、兵庫県で14人から24人、岡山県では3人～4人と安定しており、大阪府で2019年度の8人から2022年度37人と採用が増えている【資料12】。養護教諭では、全体的に安定した数の採用が見られる【資料13】。また、今後の需要の見通しを得る為に、学校教員統計調査に基づいて中学校、高等学校教員の退職者数について予測した。退職者数イコール採用者数とはならないが、傾向として捉えることは可能だと考える。収容定員増を行う2023年度入学者が採用試験を受験する2026年の各教員の退職者数を100として、以降15年間の増減推移を表してみると、公立高等学校は、岡山県では減少傾向であるが、兵庫県では2033年までは概ね110程度で安定しており、大阪府では、2028年まで減少するがそれ以降は退職者が増加しているため需要が高まることが推測される【資料14】。公立中学校では、岡山県は減少傾向であるが63～98程度で安定している。一方、兵庫県は2032年の129.1まで増加し、そこから減少するものの91.1～123.5で安定する。大阪府については、退職者が急増しており、長期的に需要が高まることになる【資料15】。

このように、近隣府県での教員全体の退職者数の傾向から見て、保健体育教諭・養護教諭の採用についても、一定数の規模で概ね推移していくことが推測される。

次に民間企業の人材需要の動向だが、少子高齢化が進行する中で、全国的に人材不足が深刻化している。直近4カ年の民間企業における大卒求人倍率の推移をみると、2021年3月卒と2020年3月卒はコロナ禍の影響もあったと推察されるが、いずれも高い水準となっている（表13）。

（表13）大卒求人総数および大卒企業就職希望者数・求人倍率の推移

	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒
大卒求人総数	813,500	804,700	683,000	676,400
大卒企業就職希望者数	432,200	439,500	447,100	450,000
求人倍率	1.88	1.83	1.53	1.50

【資料16：大卒求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移より】

少子化の進む中、この状況が急速的に変化することは想定しづらく、民間企業の人材需要についても今後も継続的に高い水準で推移することが予測できる。

なお、実際に第1期生（2021年度卒）の就職率は100.0%であり【資料18】、人材需要の動向に適していることの客観的な根拠である。

イ 本学の就職状況と求人状況

本学の就職状況と求人状況について直近4カ年をみると、いずれの学科も100%に近い就職率となっている（表14）。また、求人状況について、本学に直接求人があった求人数だけを集計しても、就職希望者1人あたりの求人倍率は5.6倍を超えており、非常に高い数値となっている（表15）。

（表14）関西福祉大学各学科就職率推移

学科	項目	2019年3月卒	2020年3月卒	2021年3月卒	2022年3月卒
社会福祉	就職希望者数	102	112	114	84
	就職者数	101	111	114	84
	就職率	99.0%	99.1%	100.0%	100.0%
看護	就職希望者数	81	79	83	95
	就職者数	81	79	83	95
	就職率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
保健教育	就職希望者数	-	-	-	62
	就職者数	-	-	-	62
	就職率	-	-	-	100.0%

【資料18：関西福祉大学就職状況より】

(表 15) 関西福祉大学求人倍率推移

項目	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒
求人数	2,361	2,657	1,595	1,793
求職者数	249	251	264	316
求人倍率	9.48	10.59	6.04	5.67

【資料 19：関西福祉大学求人倍率推移より】

以上のことから、本学で育成する人材は、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであり、収容定員増の後も継続して人材需要の要望に応えるものであると確信している。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類

資 料 目 次

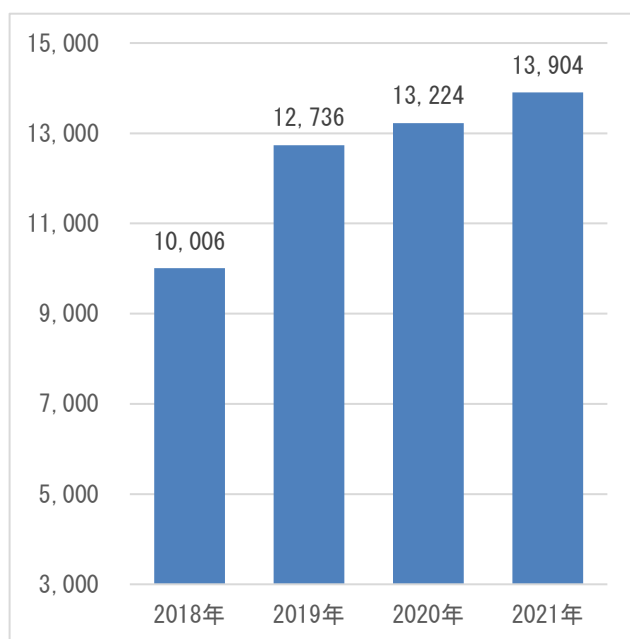
資料 1	4ヵ年志願者受験者合格者入学者	P. 2
資料 2	3 府県資料請求数推移	P. 3
資料 3	都道府県別入学者数（2022 年度入学者）	P. 4
資料 4	2021 年度入試における兵庫県内私立社会福祉系学部入学者数の状況	P. 5
資料 5	2021 年度入試における兵庫県内私立看護系学部入学者数の状況	P. 5
資料 6	2021 年度入試における兵庫県内中高「保健体育」免許を取得できる学部入学者数の状況	P. 6
資料 7	オープンキャンパス来場者数推移（高校生のみ：2018 年～2021 年）	P. 6
資料 8	2022 年度入試出願時アンケート（本学を知ったのは何から（誰から）ですか）	P. 7
資料 9	高等学校内ガイダンス・進学相談会参加数推移	P. 8
資料 10	2022 年度入試出願時アンケート（本学を志望する際に、主として誰と相談したか）	P. 8
資料 11	高大連携協定校からの入学者数推移	P. 9
資料 12	中高保健体育教諭合格者数推移（2019 年度～2022 年度）	P. 10
資料 13	養護教諭合格者数推移（2019 年度～2022 年度）	P. 11
資料 14	公立高等学校教員退職者推移（2026 年～2040 年）	P. 12
資料 15	公立中学校教員退職者推移（2026 年～2040 年）	P. 12
資料 16	大卒求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移	P. 13
資料 17	関西福祉大学教育学部保健教育学科 就職状況（分野）	P. 14
資料 18	関西福祉大学就職状況	P. 15
資料 19	関西福祉大学求人倍率推移	P. 15

【資料1】4 力年志願者受驗者合格者入学者

学科	項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
社会福祉	入学定員	100	100	100	100
	志願者数	280	382	367	243
	受驗者数	272	367	357	236
	合格者数	202	259	209	177
	入学者数	98	107	121	119
	志願倍率	2.80	3.82	3.67	2.43
	入学定員 超過率	0.98	1.07	1.21	1.19
学科	項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
保健教育	入学定員	85	85	85	85
	志願者数	715	837	606	598
	受驗者数	702	826	588	580
	合格者数	312	254	174	190
	入学者数	92	106	93	91
	志願倍率	8.41	9.85	7.13	7.04
	入学定員 超過率	1.08	1.24	1.09	1.07
学科	項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
保健教育	入学定員	80	80	80	80
	志願者数	205	295	253	228
	受驗者数	204	289	244	221
	合格者数	159	208	170	164
	入学者数	81	95	99	88
	志願倍率	2.56	3.69	3.16	2.85
	入学定員 超過率	1.01	1.18	1.23	1.10

【資料2】3府県資料請求数推移

府県	2018年	2019年	2020年	2021年
兵庫県	6,788	8,779	9,379	9,776
大阪府	2,089	2,613	2,801	3,087
岡山県	1,129	1,344	1,044	1,041
3府県計	10,006	12,736	13,224	13,904



【資料3】都道府県別入学者数（2022年度入学者）

府県	人数	割合
愛知県	1	0.28%
愛媛県	9	2.56%
岡山県	44	12.54%
岐阜県	1	0.28%
京都府	6	1.71%
広島県	1	0.28%
香川県	11	3.13%
高知県	7	1.99%
佐賀県	1	0.28%
三重県	4	1.14%
山口県	4	1.14%
滋賀県	6	1.71%
鹿児島県	6	1.71%
秋田県	1	0.28%
大阪府	17	4.84%
大分県	1	0.28%
長崎県	2	0.57%
長野県	1	0.28%
鳥取県	7	1.99%
島根県	2	0.57%
徳島県	4	1.14%
富山県	1	0.28%
福井県	2	0.57%
福岡県	2	0.57%
兵庫県	205	58.40%
北海道	1	0.28%
和歌山県	4	1.14%
合計	351	

【資料 4】 2021 年度入試における兵庫県内私立社会福祉系学部入学者数の状況

大学名	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員 超過率
関西福祉	社会福祉	社会福祉	100	121	1.21
神戸学院	総合リハビリ テーション	社会リハビリ テーション	90	96	1.07
関西学院	人間福祉	社会福祉	110	115	1.05
兵庫	生涯福祉	社会福祉	35	36	1.03
武庫川女子	文	心理・社会福 祉	160	143	0.89
関西国際	教育	教育福祉	150	113	0.75
神戸女子	健康福祉	社会福祉	80	58	0.73
神戸医療福祉	人間社会	社会福祉	120	43	0.36

【資料 5】 2021 年度入試における兵庫県内私立看護系学部入学者数の状況

大学名	学部	学科	入学定員	入学 者数	入学定員 超過率
関西看護医療	看護	看護	90	105	1.17
兵庫医科	看護	看護	100	114	1.14
園田学園女子	人間健康	人間看護	80	90	1.13
大手前	国際看護	看護	80	89	1.11
兵庫	看護	看護	90	99	1.10
関西福祉	看護	看護	85	93	1.09
武庫川女子大学	看護	看護	80	83	1.04
神戸女子	看護	看護	90	93	1.03
甲南女子	看護リハビリテ ーション	看護	100	103	1.03
神戸常盤	保健科	看護	85	87	1.02
姫路	看護	看護	100	101	1.01
関西国際	保健医療	看護	100	98	0.98
姫路獨協	看護	看護	80	62	0.78

【資料6】2021年度入試における兵庫県内私立中高「保健体育」免許を取得できる
学部入学者数の状況

大学名	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員 超過率
関西福祉	教育	保健教育	80	99	1.24
芦屋	臨床教育	教育	105	117	1.11
武庫川女子	健康・スポーツ科	健康・スポーツ科	180	160	0.89
兵庫	健康科	健康システム	40	35	0.88
園田学園女子	人間健康	総合健康	95	80	0.84
神戸女子	健康福祉	健康スポーツ 栄養	80	53	0.66
神戸親和女子	発達教育	ジュニアスポーツ 教育	80	50	0.63
神戸医療福祉	人間社会	健康スポーツ コミュニケーション	180	101	0.56

【資料7】オープンキャンパス来場者数推移（高校生のみ：2018年～2021年）

2018年	2019年	2020年	2021年
1,223	1,620	1,402	1,216

【資料 8】 2022 年度入試出願時アンケート
 (本学を知ったのは何から (誰から) ですか)

項目	回答数	占有率
大学ホームページ	615	20.9%
LINE	40	1.4%
Twitter	6	0.2%
Facebook	2	0.1%
その他 SNS	46	1.6%
Benesse マナビジョン	255	8.7%
スタディサプリ進路	257	8.7%
マイナビ進学 (進路のミカタ)	131	4.5%
その他進学情報サイト	63	2.1%
高校内で実施される進学相談会	186	6.3%
高校外の会場で実施される進学相談会	71	2.4%
テレビ CM	4	0.1%
新聞広告	4	0.1%
高校で配布される受験雑誌	148	5.0%
自宅に送付される受験雑誌	67	2.3%
自宅に送付されるハガキ	13	0.4%
駅看板・電車内広告	5	0.2%
高校の先生	314	10.7%
家族	322	10.9%
友人	162	5.5%
その他	231	7.9%
	2942	100.0%

8.7%

【資料 9】 高等学校内ガイダンス・進学相談会参加数推移

種別	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年※
進学相談会	131	139	112	105	60
高校内ガイダンス	241	292	272	210	178
総計	372	431	384	315	238

※2022年は7月末までの予定数（5月28日現在）

【資料 10】 2022年度入試出願時アンケート

（本学を志望する際に、主として誰と相談したか）

項目	人数
父親	383
母親	1094
その他の家族	24
高校の進路指導の先生	41
高校の担任の先生	524
高校のその他の先生	63
予備校・塾の先生	83
自分ひとりで決めた	47
友人	49
関西福祉大学の教職員	4
関西福祉大学の在学生（卒業生）	13
その他	91

【資料 11】 高大連携協定校からの入学者数推移

高校名	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
上郡	2	13	6	8
相生産業	3	4	5	3
相生	3	4	5	3
赤穂	11	13	18	14
太子	13	9	12	9
山崎	1	4	5	6
備前緑陽	3	2	2	6
合計	36	49	53	49

【資料 12】中高保健体育教諭合格者数推移（2019 年度～2022 年度）

			2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
中学保健体育	兵庫県	受験者	319	279	285	262
		合格者	23	35	26	20
		倍率	13.9	8.0	11.0	13.1
	神戸市 (中高共通)	受験者	158	152	155	166
		合格者	10	10	9	9
		倍率	15.8	15.2	17.2	18.4
	岡山県	受験者	133	126	137	110
		合格者	13	15	9	6
		倍率	10.2	8.4	15.2	18.3
	大阪府	受験者	523	488	506	484
		合格者	50	36	49	50
		倍率	10.5	13.6	10.3	9.7
大阪市	受験者	143	142	223	216	
	合格者	11	31	33	12	
	倍率	13.0	4.6	6.8	18.0	
高校保健体育	兵庫県	受験者	268	316	320	298
		合格者	15	22	14	24
		倍率	17.9	14.4	22.9	12.4
	岡山県	受験者	93	90	100	87
		合格者	3	3	3	4
		倍率	31.0	30.0	33.3	21.8
	大阪府	受験者	519	347	359	323
		合格者	8	14	10	37
		倍率	64.9	24.8	35.9	8.7

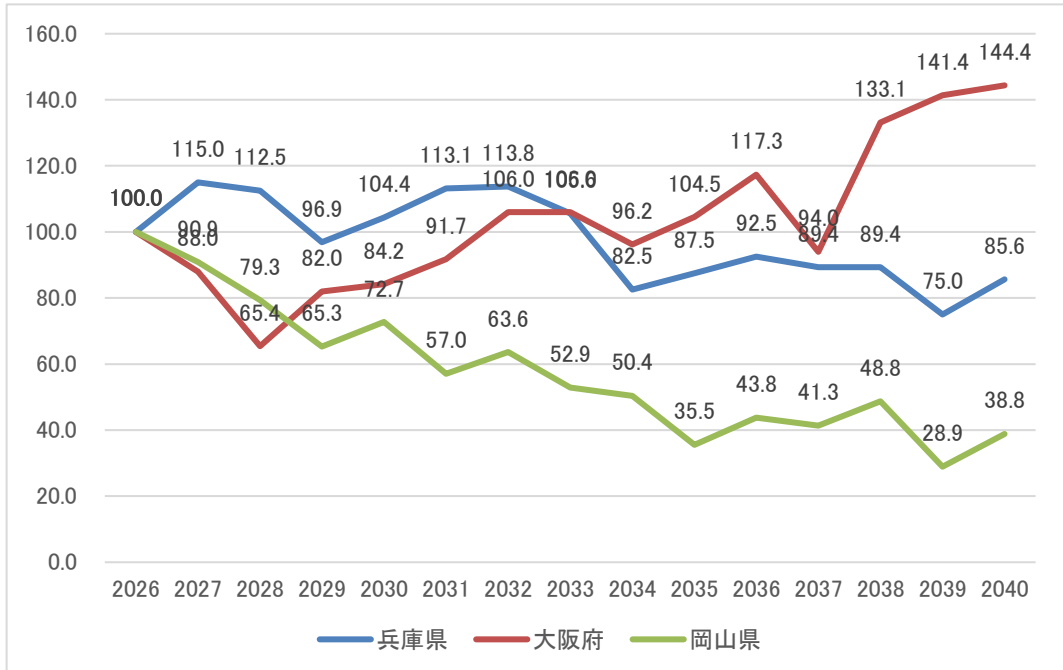
出典：教採ギルド（KYOSAI GUILD）

【資料 13】 養護教諭合格者数推移（2019 年度～2022 年度）

			2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
養護教諭	兵庫県	受験者	232	329	320	298
		合格者	30	40	35	40
		倍率	7.7	8.2	9.1	7.5
	神戸市	受験者	132	130	92	88
		合格者	17	10	5	5
		倍率	7.8	13.0	18.4	17.6
	岡山県 岡山市	受験者	132	129	167	174
		合格者	17	20	16	15
		倍率	7.8	6.5	10.4	11.6
	大阪府	受験者	387	379	383	364
		合格者	25	25	25	23
		倍率	15.5	15.2	15.3	15.8
	大阪市	受験者	250	203	228	211
		合格者	55	39	31	25
		倍率	4.5	5.2	7.4	8.4

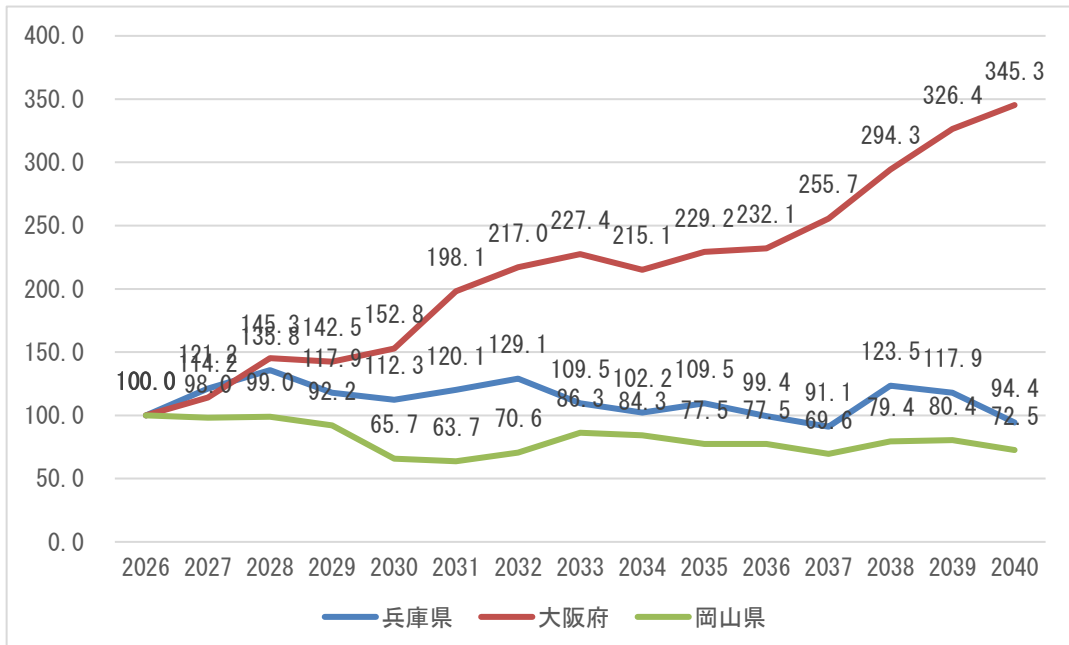
出典：教採ギルド（KYOSAI GUILD）

【資料 14】 公立高等学校教員退職者推移（2026 年～2040 年）



【文部科学省「学校教員統計調査」より作成】

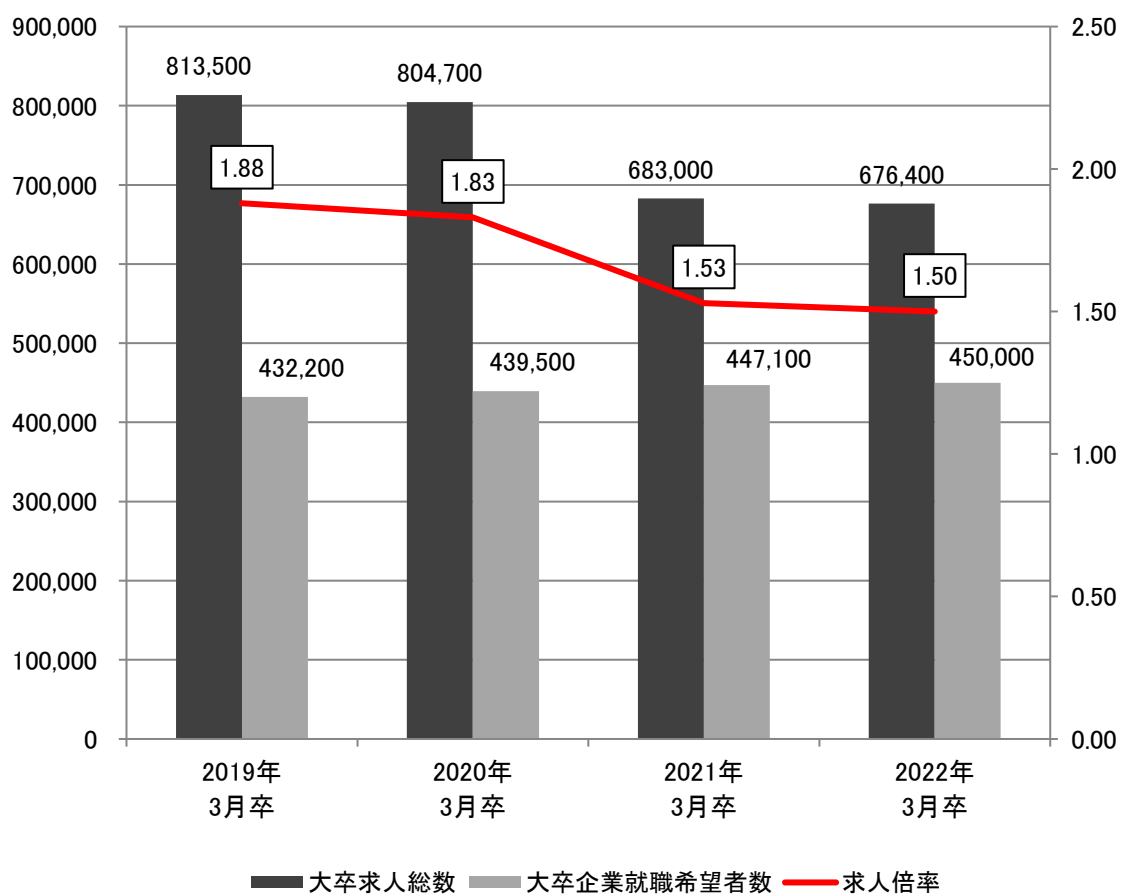
【資料 15】 公立中学校教員退職者推移（2026 年～2040 年）



【文部科学省「学校教員統計調査」より作成】

【資料 16】大卒求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移

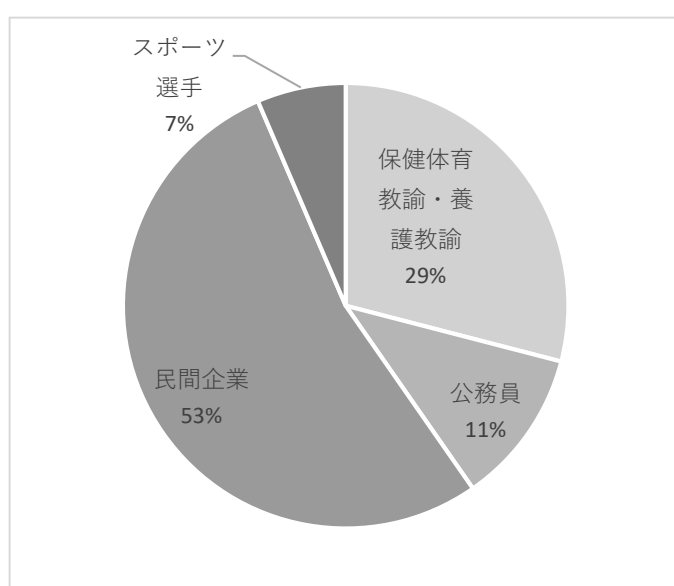
	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒
大卒求人総数	813,500	804,700	683,000	676,400
大卒企業就職希望者数	432,200	439,500	447,100	450,000
求人倍率	1.88	1.83	1.53	1.50



リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」より

【資料 17】 関西福祉大学教育学部保健教育学科 就職状況（分野）

進路先	人数	割合
保健体育教諭・養護教諭	18	29.0%
公務員	7	11.3%
民間企業	33	53.2%
スポーツ選手	4	6.5%
合計	62	100.0%



【資料 18】 関西福祉大学就職状況

学科	項目	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒
社会福祉	就職希望者数	102	112	114	84
	就職者数	101	111	114	84
	就職率	99.0%	99.1%	100.0%	100.0%
看護	就職希望者数	81	79	83	95
	就職者数	81	79	83	95
	就職率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
児童教育	就職希望者数	66	60	67	75
	就職者数	66	60	67	74
	就職率	100.0%	100.0%	100.0%	98.7%
保健教育	就職希望者数	－	－	－	62
	就職者数	－	－	－	62
	就職率	－	－	－	100.0%
合計	就職希望者数	249	251	264	316
	就職者数	248	250	264	315
	就職率	99.6%	99.6%	100.0%	99.7%

【資料 19】 関西福祉大学求人倍率推移

項目	2019年 3月卒	2020年 3月卒	2021年 3月卒	2022年 3月卒
求人数	2,361	2,657	1,595	1,793
就職者数	249	251	264	316
求人倍率	9.48	10.59	6.04	5.67

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	カウ アキラ 加藤 明 <平成26年10月>		教育学修士		関西福祉大学 学長 <平成26.10～令和4.9>

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。